

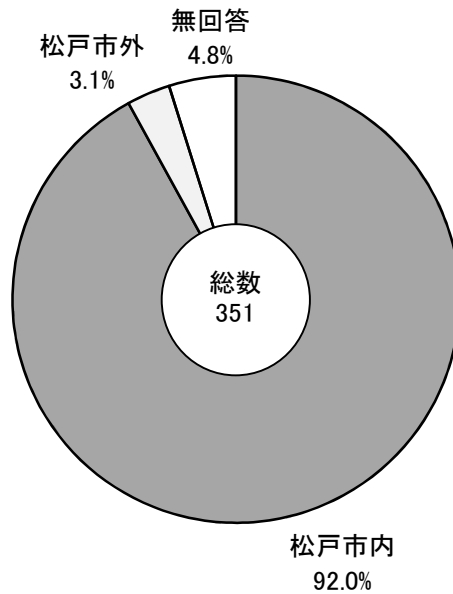
V 特別養護老人ホーム入所待機者調査の結果

1 ご自身や家族の状況について

(1) 居住地域

F 1. ご本人（入所予定者）のお住まいの地域を教えてください。（どちらかに○）

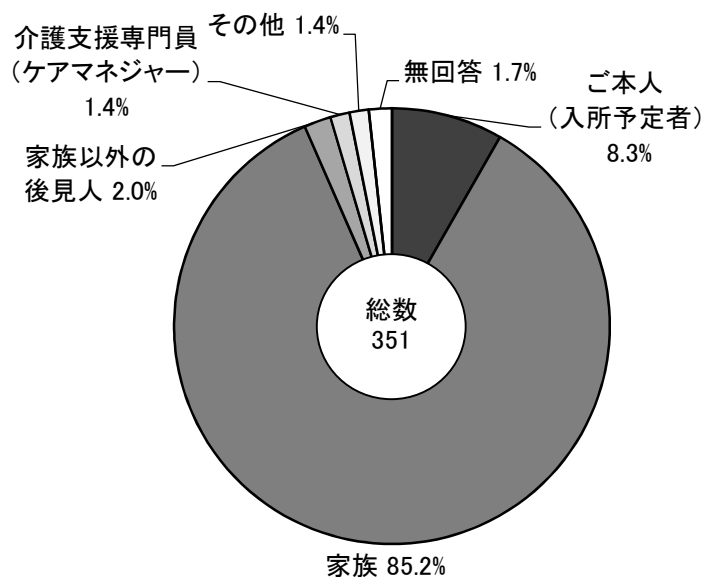
「松戸市内」が92.0%、「松戸市外」が3.1%となっています。



(2) 回答者

F 2. この調査をご回答いただくのは、どなたですか。（1つに○）

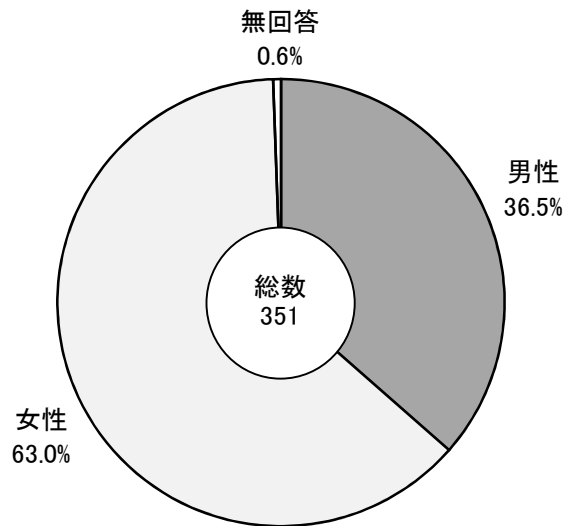
「家族」が85.2%と最も多く、次いで「ご本人（入所予定者）」が8.3%、「家族以外の後見人」が2.0%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が1.4%と続いています。



(3) 性別

F 3. ご本人（入所予定者）の性別についておうかがいします。（どちらかに○）

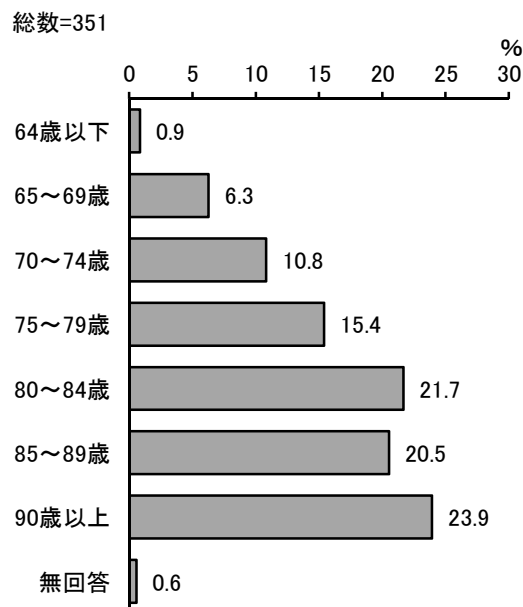
「男性」が36.5%、「女性」が63.0%となっています。



(4) 年齢

F 4. ご本人（入所予定者）の現在の満年齢をおうかがいします。（平成29年6月1日現在）
（1つに○）

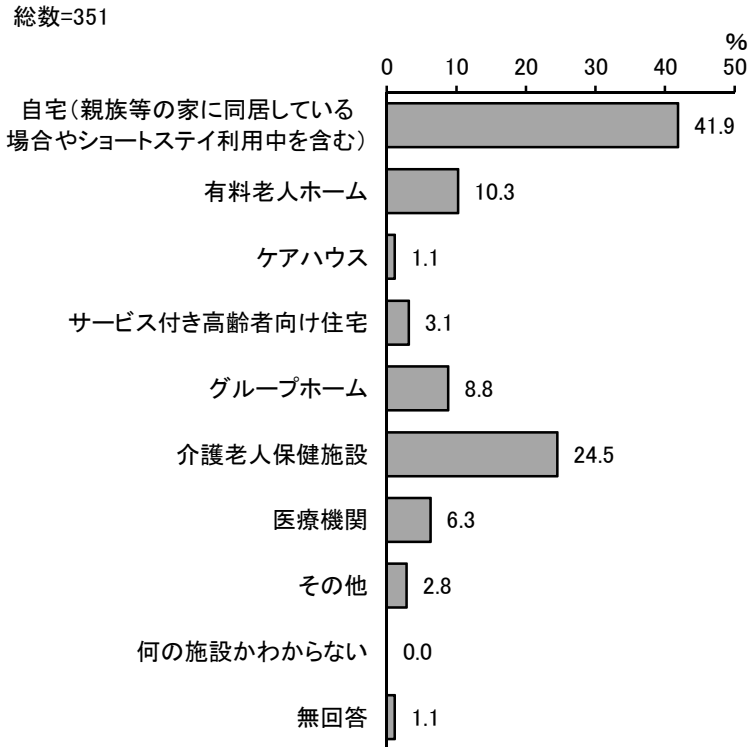
「90歳以上」が23.9%と最も多く、次いで「80～84歳」が21.7%、「85～89歳」が20.5%、「75～79歳」が15.4%と続いています。



(5) 生活の場

F 5. ご本人（入所予定者）は、現在どこで生活していますか。（1つに○）

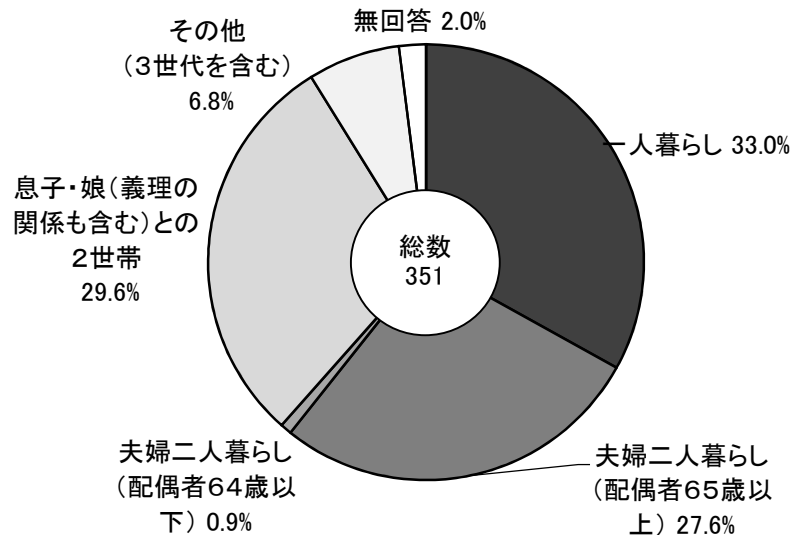
「自宅（親族等の家に同居している場合やショートステイ利用中を含む）」が41.9%と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が24.5%、「有料老人ホーム」が10.3%、「グループホーム」が8.8%と続いています。



(6) 家族構成

F 6. ご本人（入所予定者）の世帯（家族構成）を教えてください。（1つに○）

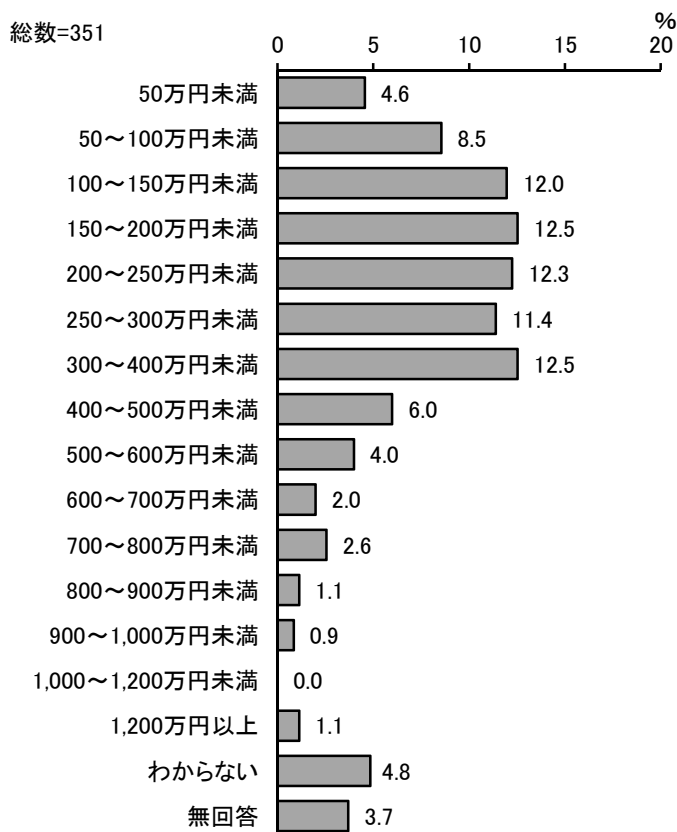
「一人暮らし」が33.0%と最も多く、次いで「息子・娘（義理の関係も含む）との2世帯」が29.6%、「夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）」が27.6%、「その他（3世代を含む）」が6.8%と続いています。



(7) 世帯年収

F7. F6でお答えの世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成28年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

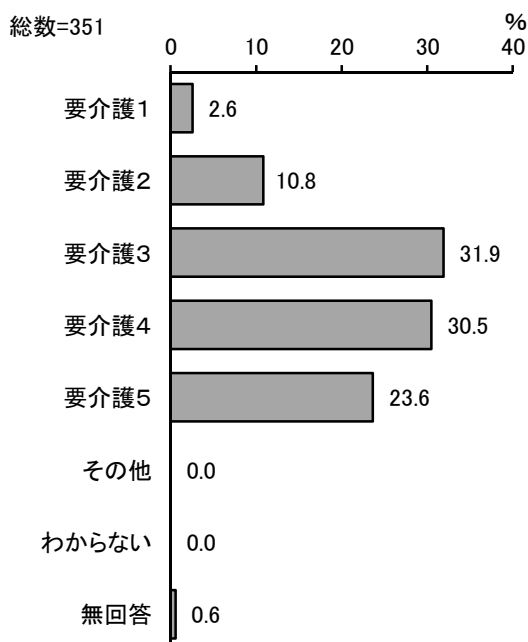
「150～200万円未満」と「300～400万円未満」が12.5%と多く、次いで「200～250万円未満」が12.3%、「100～150万円未満」が12.0%と続いています。



(8) 要介護度

F8. ご本人（入所予定者）の現在の要介護状態区分はどれにあたりますか。（1つに○）

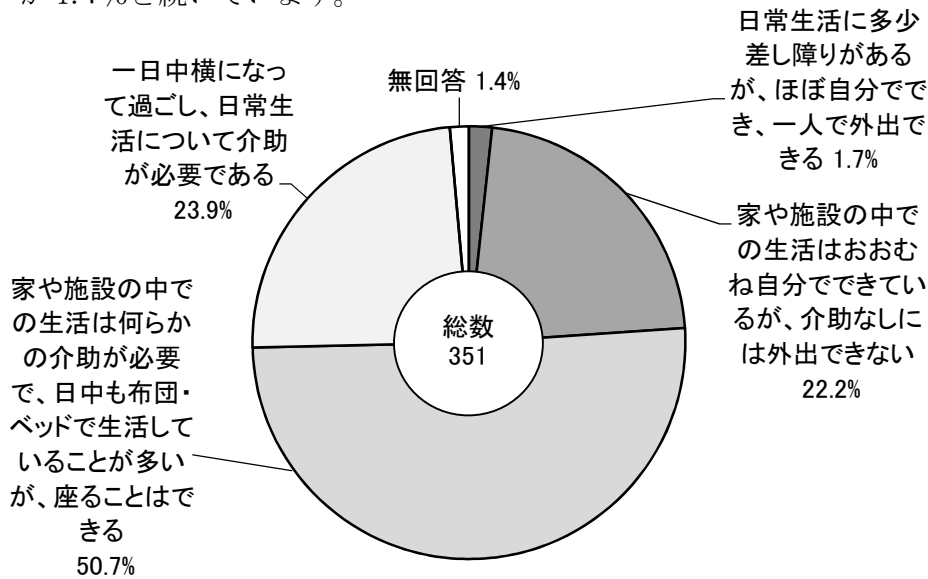
「要介護3」が31.9%と最も多く、次いで「要介護4」が30.5%、「要介護5」が23.6%、「要介護2」が10.8%と続いています。



(9) 日常生活の状況

F 9. ご本人（入所予定者）の日常生活における活動状況は次のどれにあたりますか。現在の状況に最も近いものをお答えください。（1つに○）

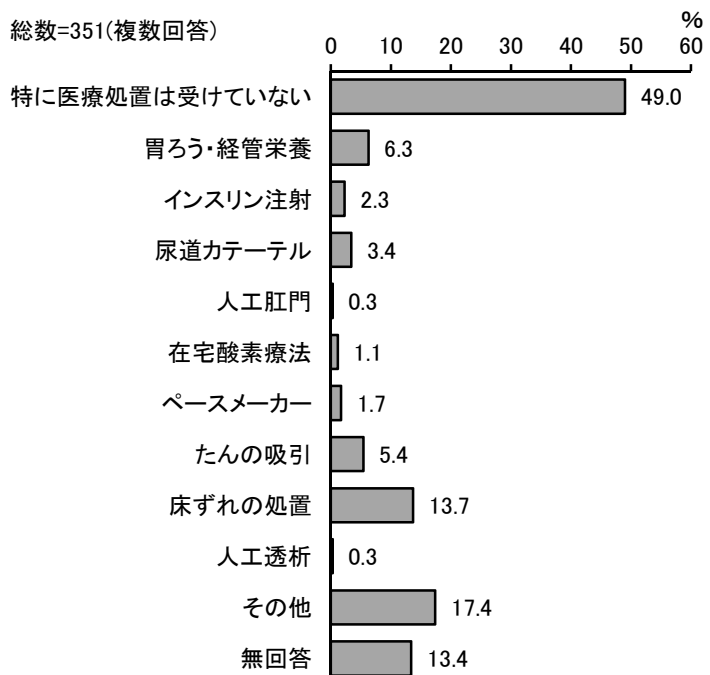
「家や施設の中での生活は何らかの介助が必要で、日中も布団・ベッドで生活していることが多いが、座ることはできる」が 50.7%と最も多く、次いで「一日中横になって過ごし、日常生活について介助が必要である」が 23.9%、「家や施設の中での生活はおおむね自分でできているが、介助なしには外出できない」が 22.2%、「日常生活に多少差し障りがあるが、ほぼ自分ででき、一人で外出できる」が 1.7%と続いています。



(10) 医療処置

F 10. ご本人（入所予定者）は次のような医療処置を日常的に必要としていますか。（あてはまるもの全てに○）

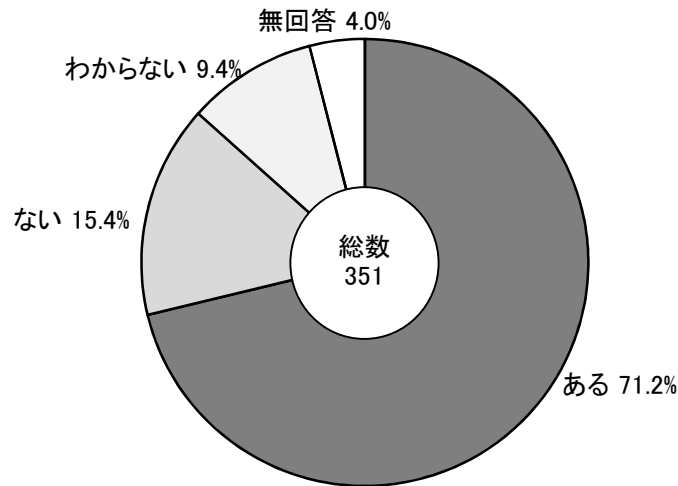
「特に医療処置は受けていない」が 49.0%と最も多く、次いで「その他」が 17.4%、「床ずれの処置」が 13.7%、「胃ろう・経管栄養」が 6.3%と続いています。



(11) 認知症

F11. ご本人（入所予定者）は、認知症と思われる症状がありますか。（1つに○）

「ある」が71.2%と最も多く、次いで「ない」が15.4%、「わからない」が9.4%と続いています。



要介護度別で見ると、要介護3では「ある」が75.0%、「ない」が16.1%、要介護4では「ある」が71.0%、「ない」が13.1%、要介護5では「ある」が69.9%、「ない」が15.7%となっています。

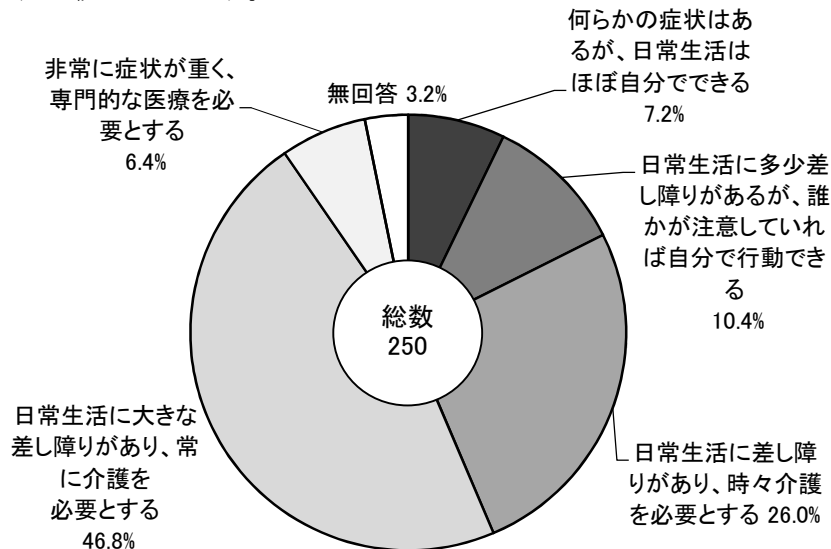
	全体	ある	ない	わからない	無回答
全体	351 100.0	250 71.2	54 15.4	33 9.4	14 4.0
要介護1	9 100.0	7 77.8	- -	1 11.1	1 11.1
要介護2	38 100.0	24 63.2	9 23.7	3 7.9	2 5.3
要介護3	112 100.0	84 75.0	18 16.1	8 7.1	2 1.8
要介護4	107 100.0	76 71.0	14 13.1	14 13.1	3 2.8
要介護5	83 100.0	58 69.9	13 15.7	7 8.4	5 6.0
無回答	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0

(12) 認知症の症状

(11) で 1 (認知症状あり) と回答した方

F11-1. 症状はどの程度ですか。現在の状況に最も近いものをお答えください。(1つに○)

「日常生活に大きな差し障りがあり、常に介護を必要とする」が 46.8%と最も多く、次いで「日常生活に差し障りがあり、時々介護を必要とする」が 26.0%、「日常生活に多少差し障りがあるが、誰かが注意していれば自分で行動できる」が 10.4%、「何らかの症状はあるが、日常生活はほぼ自分でできる」が 7.2%と続いています。

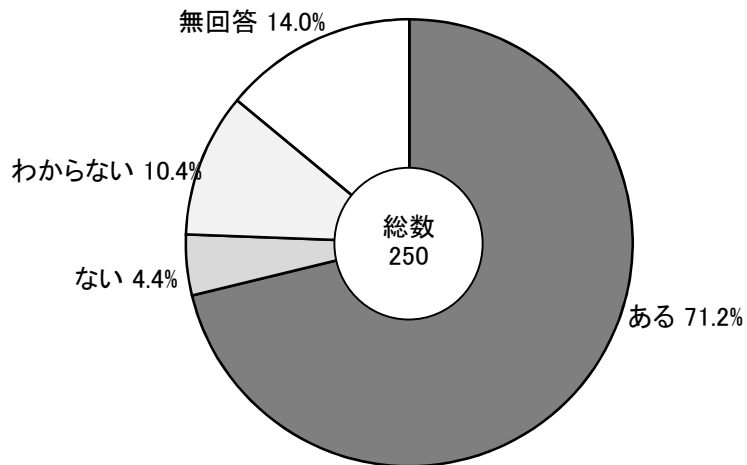


(13) 認知症の診断

(11) で1 (ある) と回答した方

F11-2. 医師から認知症と診断されたことがありますか。(1つに○)

「ある」が71.2%と最も多く、次いで「わからない」が10.4%、「ない」が4.4%と続いています。



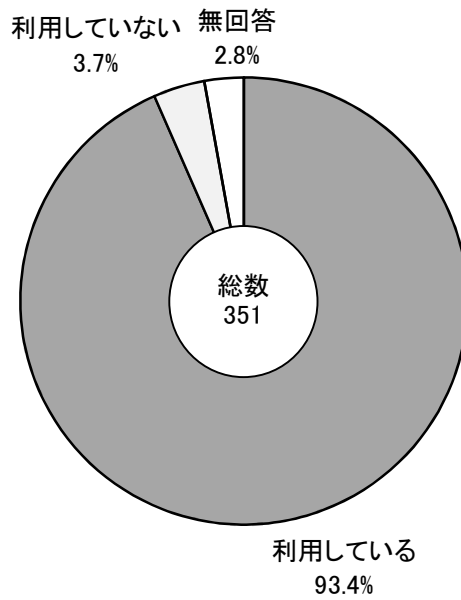
要介護度別で見ると、要介護3では「ある」が69.0%、「ない」が9.5%、要介護4では「ある」が67.1%、「ない」が1.3%、要介護5では「ある」が82.8%となっています。

	全体	ある	ない	わからない	無回答
全体	250 100.0	178 71.2	11 4.4	26 10.4	35 14.0
要介護1	7 100.0	4 57.1	1 14.3	- -	2 28.6
要介護2	24 100.0	16 66.7	1 4.2	1 4.2	6 25.0
要介護3	84 100.0	58 69.0	8 9.5	11 13.1	7 8.3
要介護4	76 100.0	51 67.1	1 1.3	10 13.2	14 18.4
要介護5	58 100.0	48 82.8	- -	4 6.9	6 10.3
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

(14) 介護保険サービス

F12. ご本人（入所予定者）は、現在介護保険サービスを利用していますか。（どちらかに○）

「利用している」が93.4%、「利用していない」が3.7%となっています。

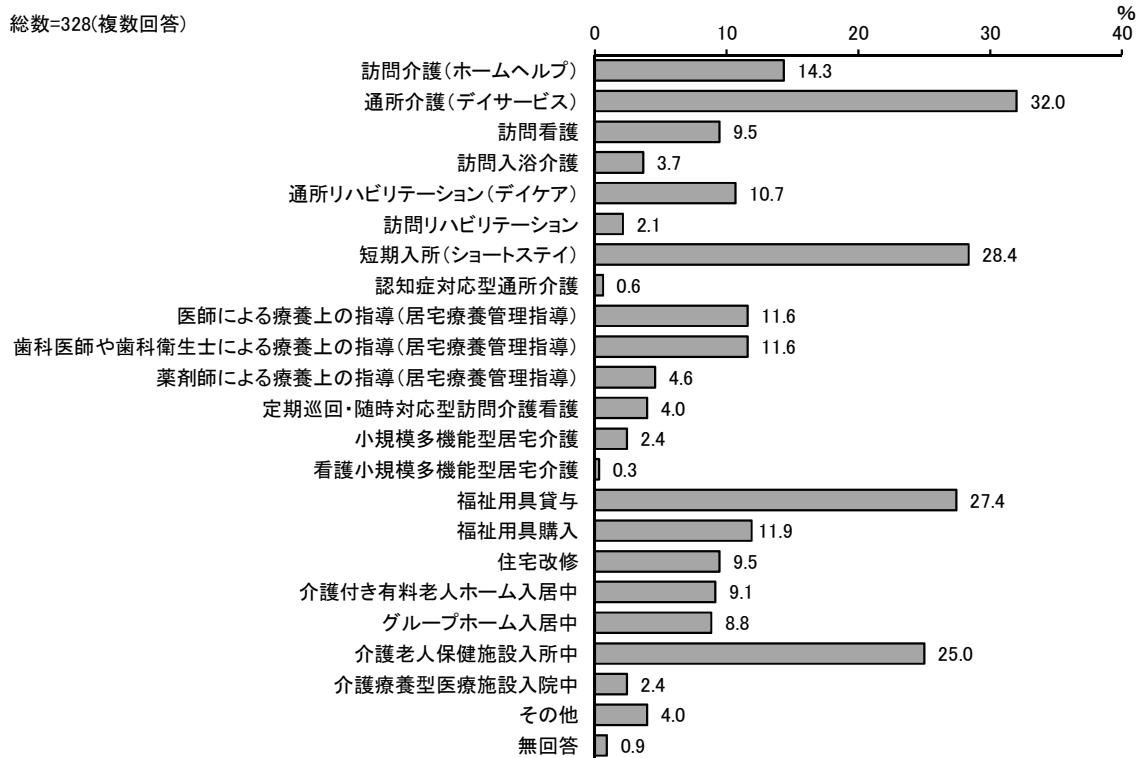


(15) 利用しているサービス

(14) で1 (サービスを利用している) と回答した方

F12-1. 現在、ご本人 (入所予定者) はどのような介護保険サービスを利用していますか。

「通所介護(デイサービス)」が 32.0%と最も多く、次いで「短期入所(ショートステイ)」が 28.4%、「福祉用具貸与」が 27.4%、「介護老人保健施設入所中」が 25.0%と続いています。

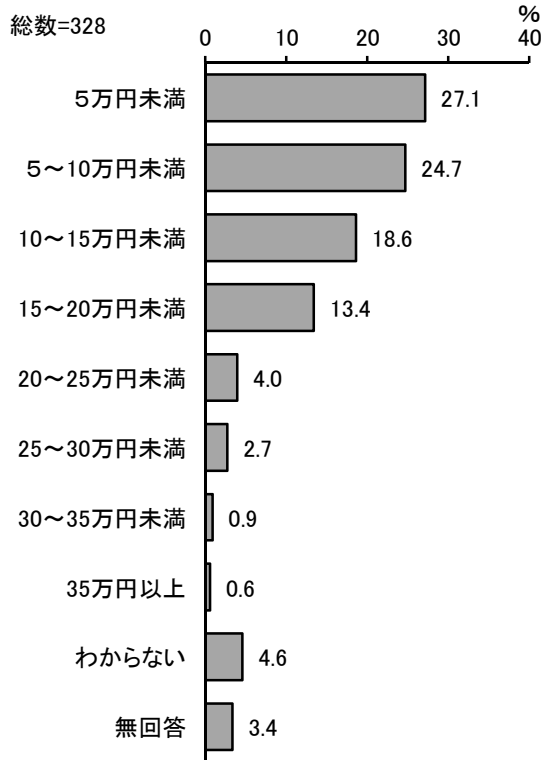


(16) 自己負担額

(14) で 1 (サービスを利用している) と回答した方

F12-2. F12-1で選択した介護保険サービスに要する1か月あたりの自己負担額の総額はどの程度ですか。(1つに○)

「5万円未満」が27.1%と最も多く、次いで「5～10万円未満」が24.7%、「10～15万円未満」が18.6%、「15～20万円未満」が13.4%と続いています。

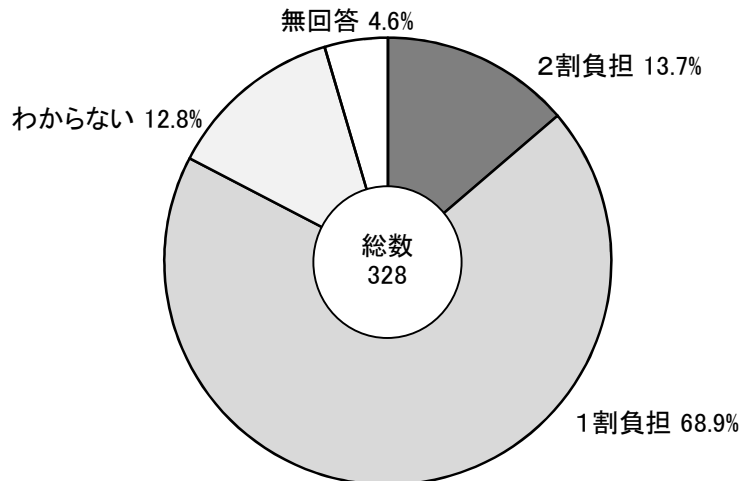


(17) 自己負担割合

(14) で 1 (サービスを利用している) と回答した方

F12-3. 現在の介護保険利用負担割合は何割ですか。(1つに○)

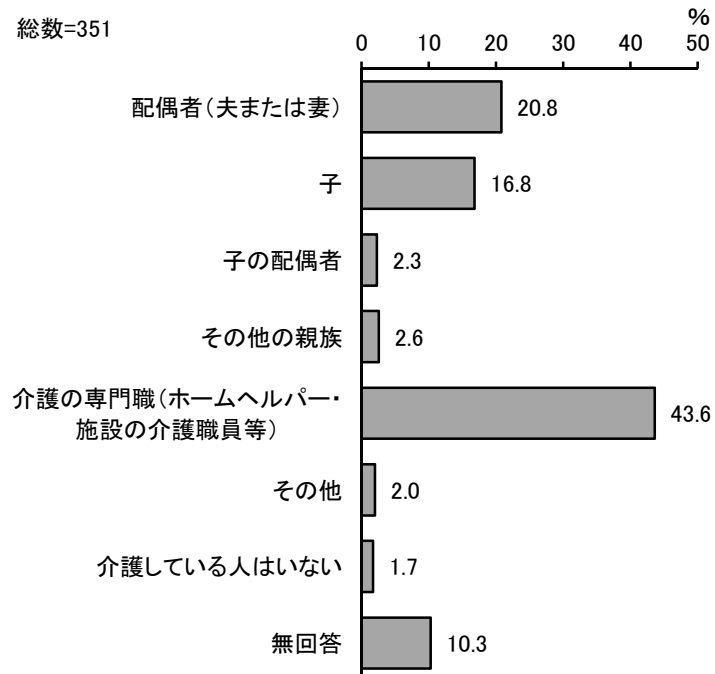
「1割負担」が68.9%と最も多く、次いで「2割負担」が13.7%、「わからない」が12.8%と続いています。



(18) 主な介護者

F13. ご本人（入所予定者）の介護を主に（一番長い時間）行っているのはどなたですか。

「介護の専門職（ホームヘルパー・施設の介護職員等）」が 43.6%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 20.8%、「子」が 16.8%、「その他の親族」が 2.6%と続いています。

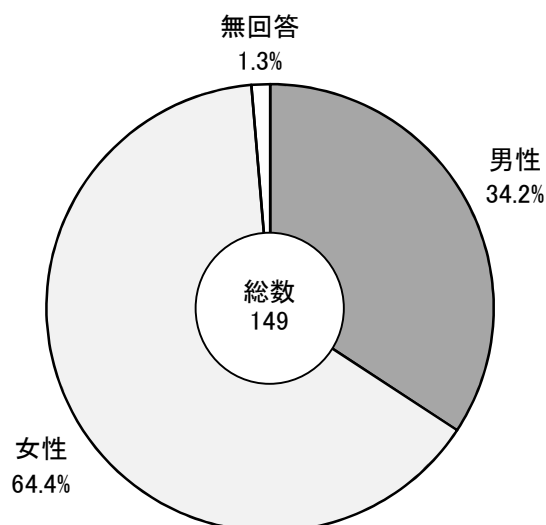


(19) 主な介護者の性別

(18) で 1～4（家族・親族が主に介護をしている）と回答した方

F13-1. ご本人（入所予定者）を主に介護している方の性別をお答えください。
（どちらかに○）

「女性」が 64.4%、「男性」が 34.2%となっています。

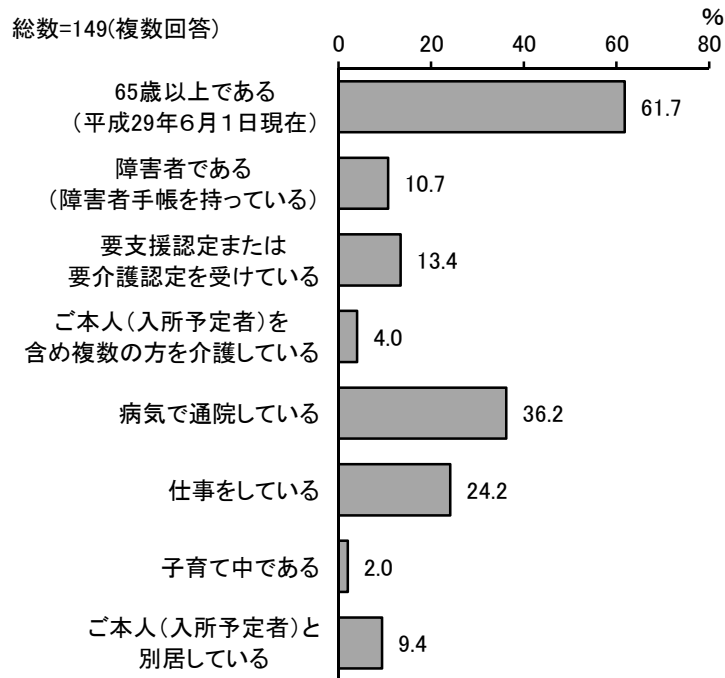


(20) 主な介護者の状況

(18) で 1～4 (家族・親族が主に介護をしている) と回答した方

F13-2. ご本人(入所予定者)を主に介護している方について、次の中からあてはまるものをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

「65歳以上である(平成29年6月1日現在)」が61.7%と最も多く、次いで「病気で通院している」が36.2%、「仕事をしている」が24.2%、「要支援認定または要介護認定を受けている」が13.4%と続いています。

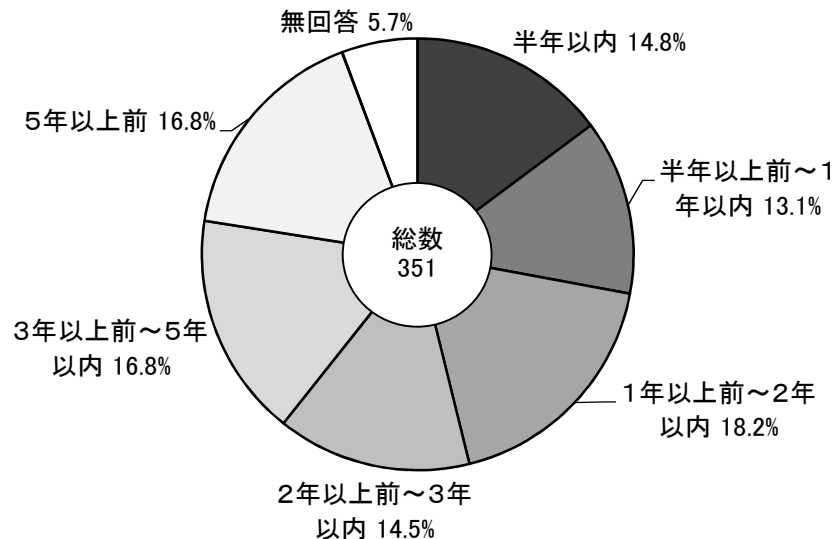


2 特別養護老人ホームへの入所申込み等について

(1) 入所申込み時期

Q 1. 特別養護老人ホームの入所を初めて申し込んだのはいつですか。(1つに○)

「1年以上前～2年以内」が18.2%と最も多く、次いで「3年以上前～5年以内」と「5年以上前」が16.8%、「半年以内」が14.8%と続いています。

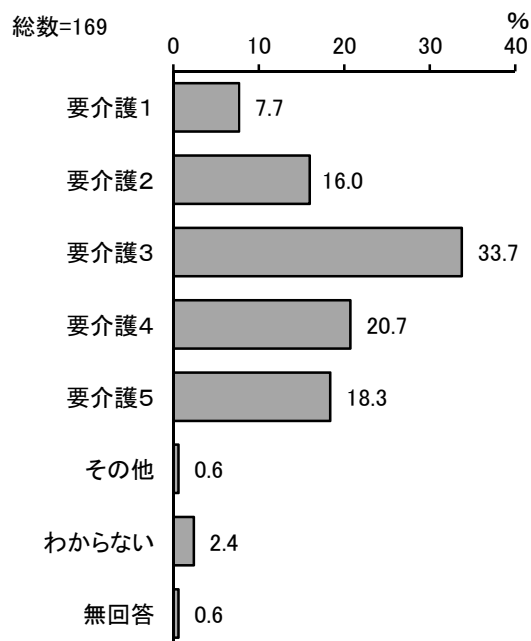


(2) 入所申込時の要介護度

(1) で4～6 (入所の2年以上前から申し込んだ) と回答した方

Q 1-1. 最初に特別養護老人ホームの入所申込みをしたときの要介護状態区分をお答えください。(1つに○)

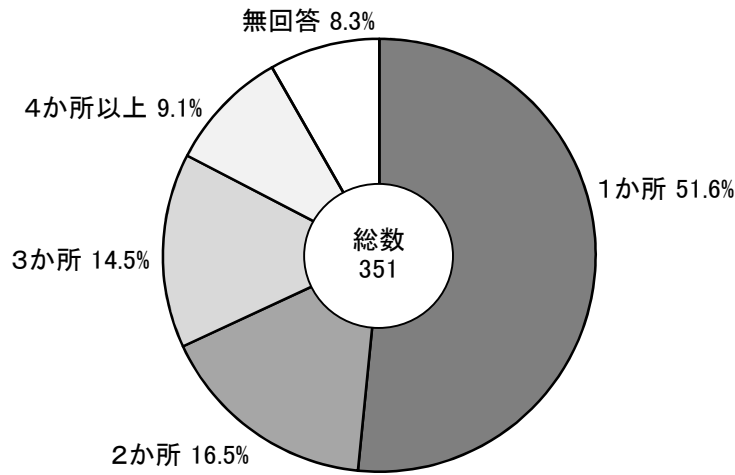
「要介護3」が33.7%と最も多く、次いで「要介護4」が20.7%、「要介護5」が18.3%、「要介護2」が16.0%と続いています。



(3) 入所申込み施設数

Q2. 現在、何か所の特別養護老人ホームについて入所申込みをしていますか。(1つに○)

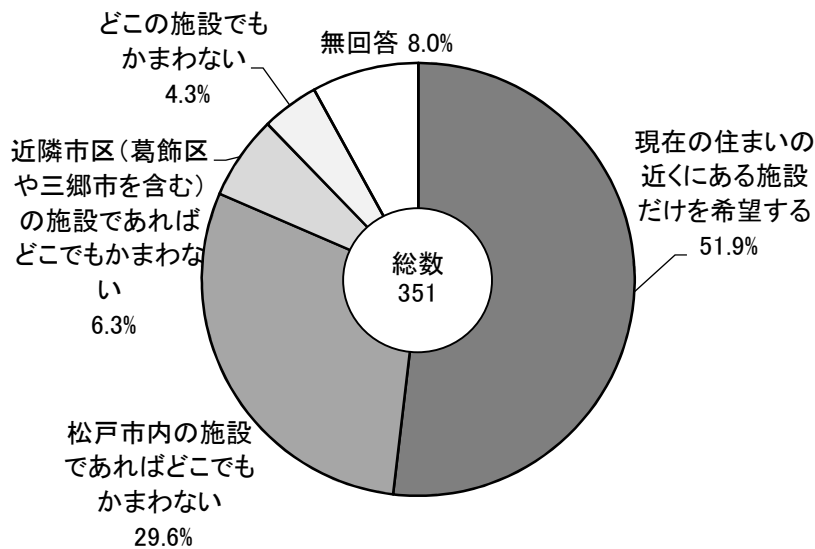
「1か所」が51.6%と最も多く、次いで「2か所」が16.5%、「3か所」が14.5%、「4か所以上」が9.1%と続いています。



(4) 入所希望地域

Q3. どちらの地域の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。(1つに○)

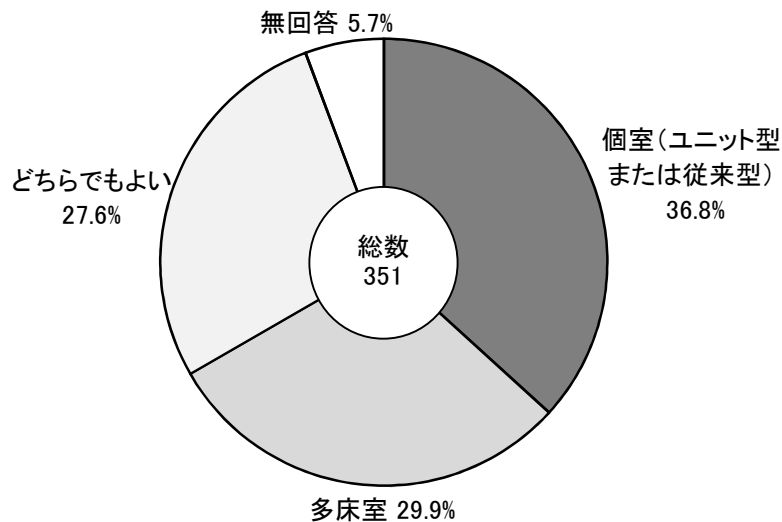
「現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が51.9%と最も多く、次いで「松戸市内の施設であればどこでもかまわない」が29.6%、「近隣市区（葛飾区や三郷市を含む）の施設であればどこでもかまわない」が6.3%、「どこの施設でもかまわない」が4.3%と続いています。



(5) 入所希望居室

Q 4. 特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望されますか。(1つに○)

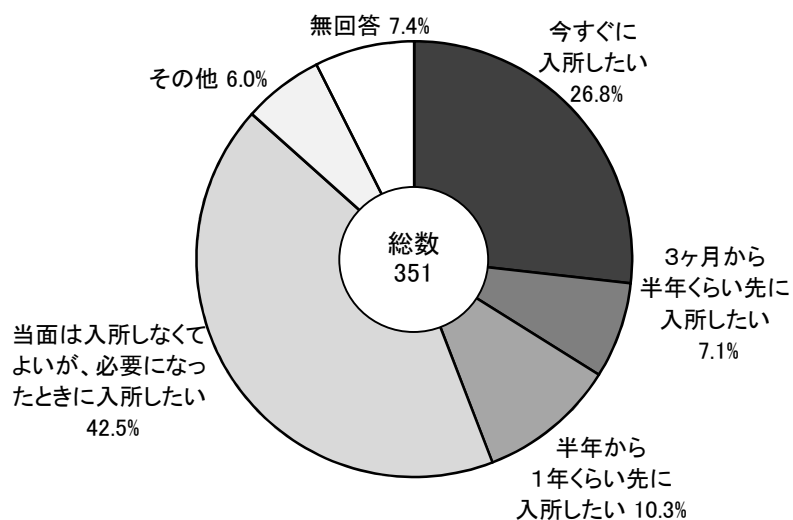
「個室(ユニット型または従来型)」が36.8%と最も多く、次いで「多床室」が29.9%、「どちらでもよい」が27.6%と続いています。



(6) 入所希望時期

Q 5. 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。(1つに○)

「当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい」が42.5%と最も多く、次いで「今すぐに入所したい」が26.8%、「半年から1年くらい先に入所したい」が10.3%、「3ヶ月から半年くらい先に入所したい」が7.1%と続いています。

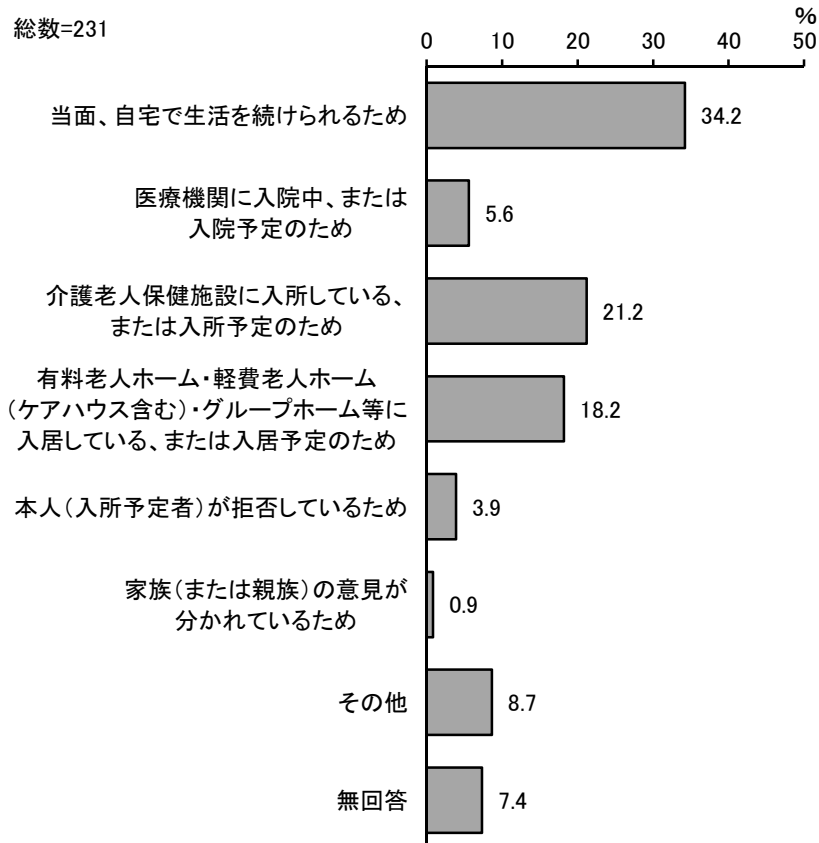


(7) 今すぐに入所を希望しない理由

(6) で2～5と回答した方

Q5-1. Q5で2～5を選んだ理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。

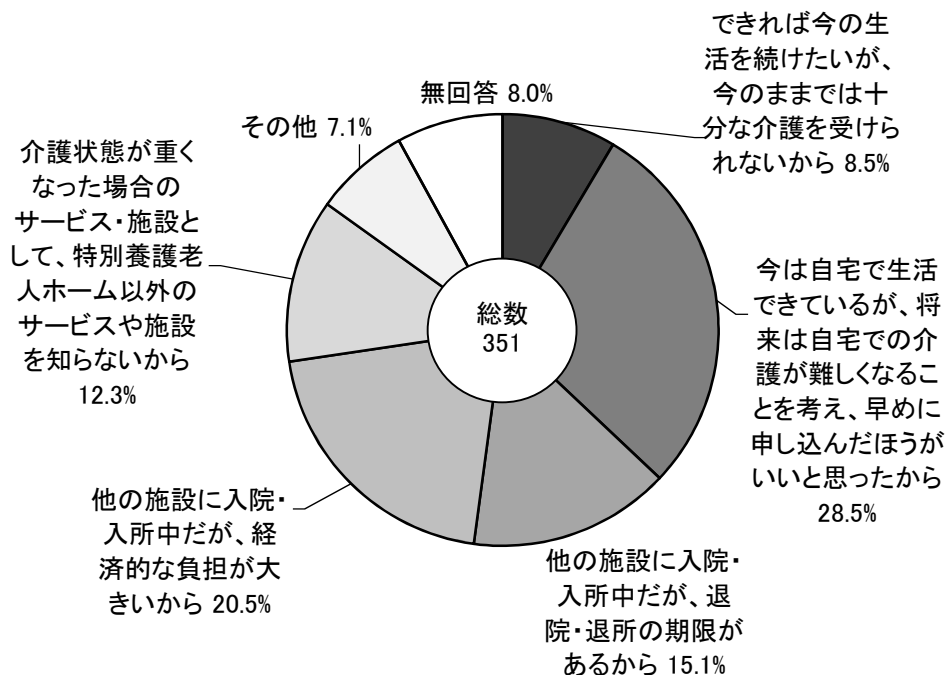
「当面、自宅で生活を続けられるため」が34.2%と最も多く、次いで「介護老人保健施設に入所している、または入所予定のため」が21.2%、「有料老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス含む）・グループホーム等に入居している、または入居予定のため」が18.2%、「その他」が8.7%と続いています。



(8) 入所申込み理由

Q6. 特別養護老人ホームの入所申込みをした理由は何ですか。最もよくあてはまるものをお答えください。(1つに○)

「今は自宅で生活できているが、将来は自宅での介護が難しくなることを考え、早めに申し込んだほうが良いと思ったから」が28.5%と最も多く、次いで「他の施設に入院・入所中だが、経済的な負担が大きいから」が20.5%、「他の施設に入院・入所中だが、退院・退所の期限があるから」が15.1%、「介護状態が重くなった場合のサービス・施設として、特別養護老人ホーム以外のサービスや施設を知らないから」が12.3%と続いています。

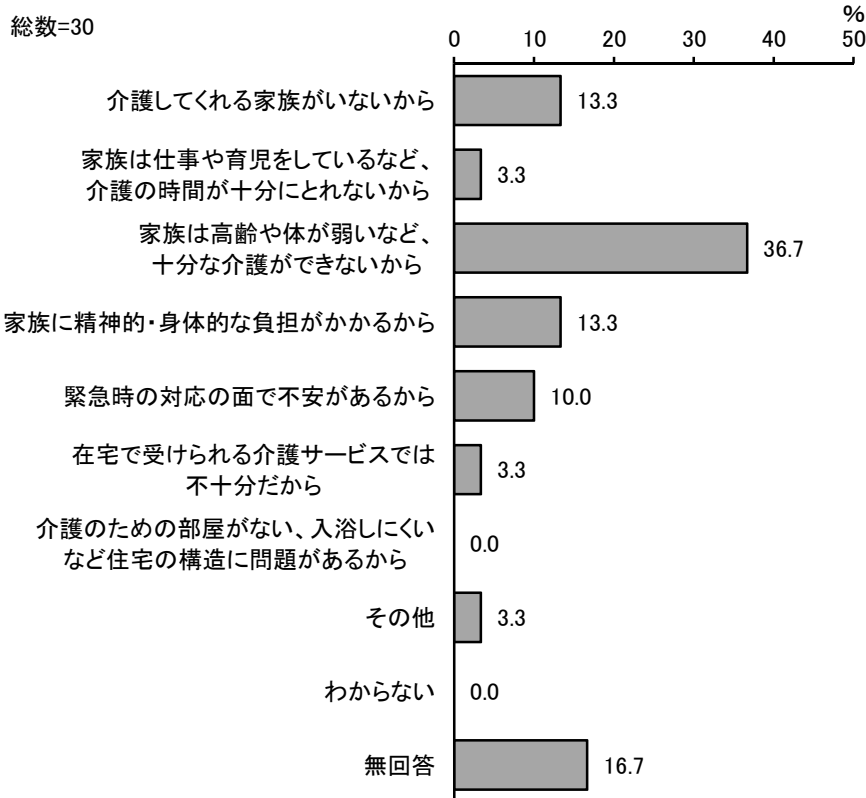


(9) 十分な介護を受けられない理由

(8) で 1 (できれば今の生活を続けたいが、今のままでは十分な介護を受けられないから) と回答した方

Q6-1. Q6で1を選んだ理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つに○)

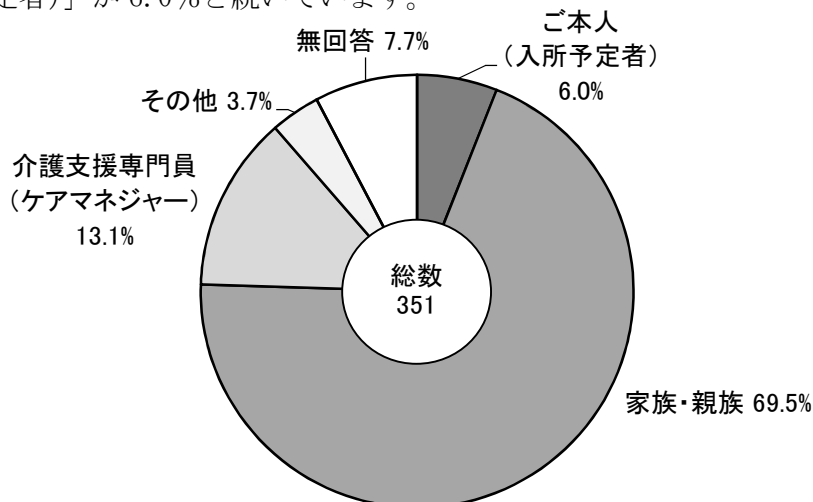
「家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから」が 36.7%と最も多く、次いで「介護してくれる家族がないから」と「家族に精神的・身体的な負担がかかるから」がそれぞれ 13.3%、「緊急時の対応の面で不安があるから」が 10.0%と続いています。



(10) 入所申込み決定者

Q7. 特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方はどなたですか。「主にこの人の意思で決めた」あるいは「主にこの人の勧めで決めた」という方をお答えください。(1つに○)

「家族・親族」が 69.5%と最も多く、次いで「介護支援専門員 (ケアマネジャー)」が 13.1%、「ご本人 (入所予定者)」が 6.0%と続いています。

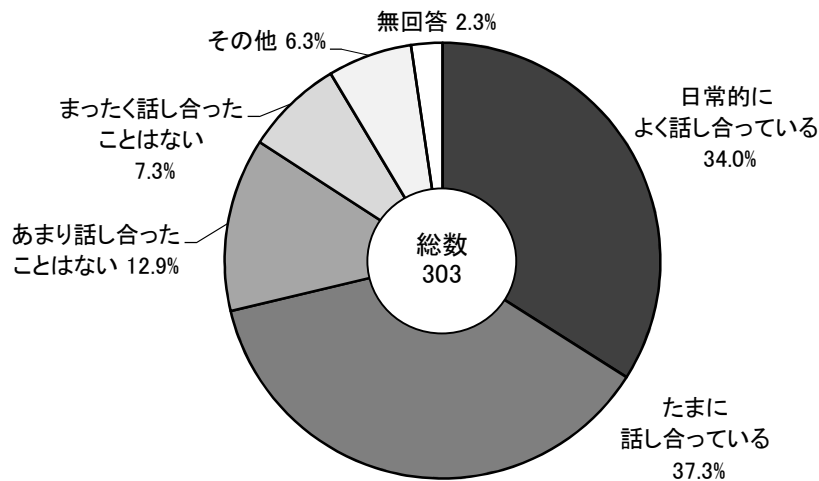


(11) 入所予定者との話し合い

(10) で 2～4 (本人以外が申込みを決めた) と回答した方

Q 7-1. ご本人 (入所予定者) の特別養護老人ホームへの入所について、家族 (または親族) で話し合っていますか。(1つに○)

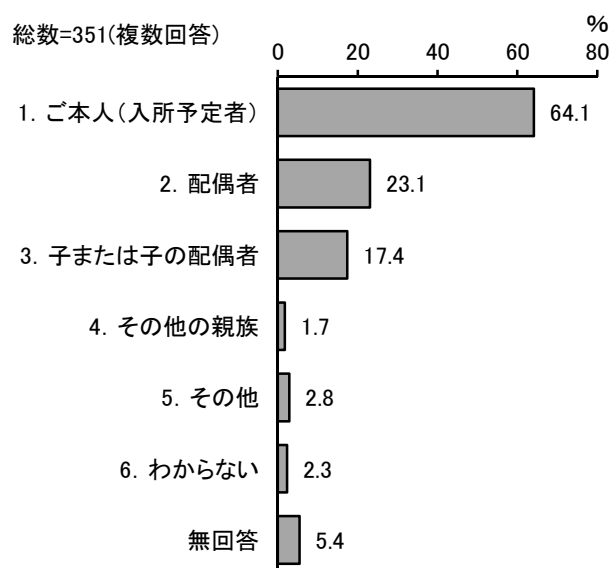
「たまに話し合っている」が 37.3% と最も多く、次いで「日常的によく話し合っている」が 34.0%、「あまり話し合ったことはない」が 12.9%、「まったく話し合ったことはない」が 7.3% と続いています。



(12) 入所費用負担者

Q 8. 特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方はどなたですか。(あてはまるもの全てに○)

「ご本人 (入所予定者)」が 64.1% と最も多く、次いで「配偶者」が 23.1%、「子または子の配偶者」が 17.4%、「わからない」が 2.3% と続いています。

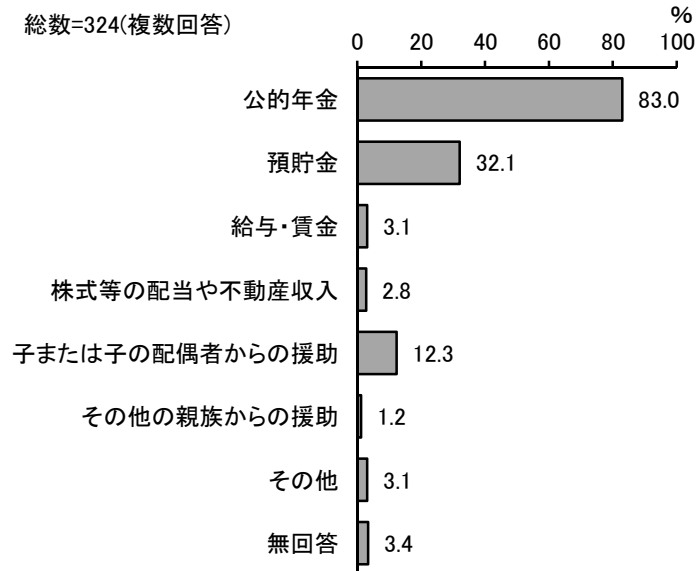


(13) 入所資金

(12) で1～5と回答した方

Q8-1. 入所費用にあてる主な収入（資金）は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

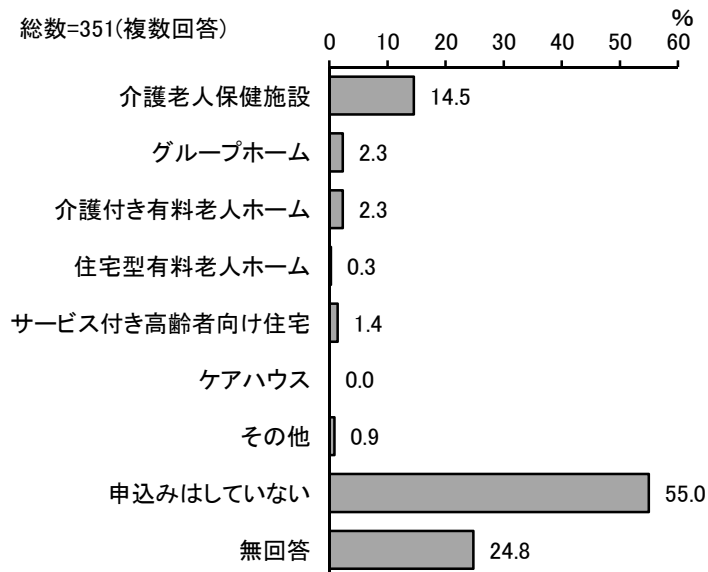
「公的年金」が83.0%と最も多く、次いで「預貯金」が32.1%、「子または子の配偶者からの援助」が12.3%、「給与・賃金」が3.1%と続いています。



(14) 特養以外の申込み施設

Q9. 特別養護老人ホーム以外で入所申込みをしている施設をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

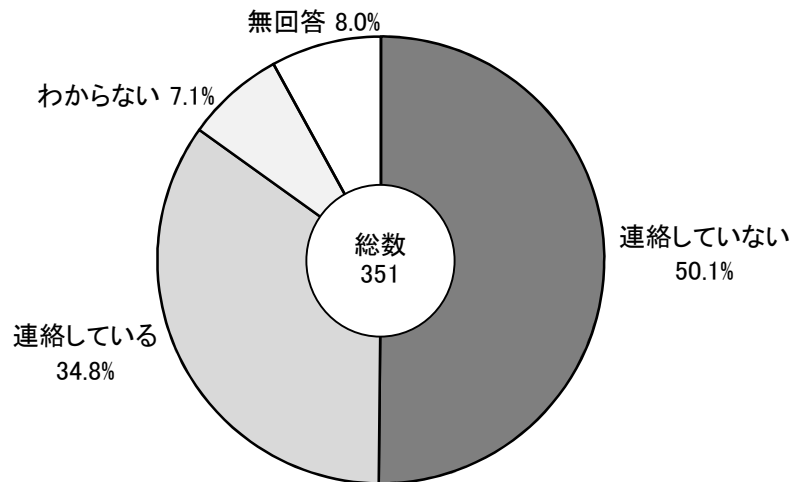
「申込みはしていない」が55.0%と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が14.5%、「グループホーム」と「介護付き有料老人ホーム」がそれぞれ2.3%と続いています。



(15) 状態の変化に関する連絡

Q10. 特別養護老人ホーム入所申込み後にご本人（入所予定者）の要介護度・家族の状況に変化があった場合、施設に連絡をしていますか。（1つに○）

「連絡していない」が50.1%と最も多く、次いで「連絡している」が34.8%、「わからない」が7.1%と続いています。

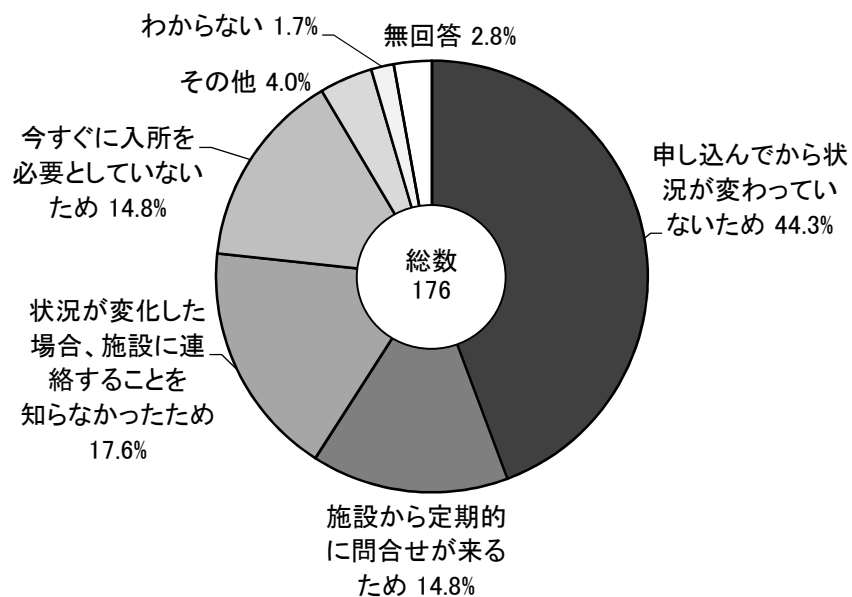


(16) 連絡していない理由

(15) で1（連絡していない）と回答した方

Q10-1. 施設に連絡していない理由は何ですか。（1つに○）

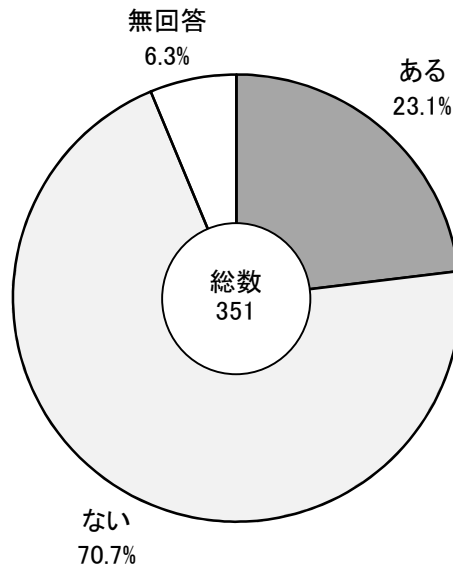
「申し込んでから状況が変わっていないため」が44.3%と最も多く、次いで「状況が変化した場合、施設に連絡することを知らなかったため」が17.6%、「施設から定期的な問合せが来るため」と「今すぐに入所を必要としていないため」がそれぞれ14.8%と続いています。



(17) 入所辞退

Q11. 特別養護老人ホームへの入所を辞退したことがありますか。(どちらかに○)

「ある」が23.1%、「ない」が70.7%となっています。



現在の生活の場別に見ると、自宅（親族等の家に同居している場合やショートステイ利用中を含む）では、「ない」が「ある」よりも約6ポイント高く、有料老人ホームでは、「ある」が「ない」よりも約7ポイント高くなっています。

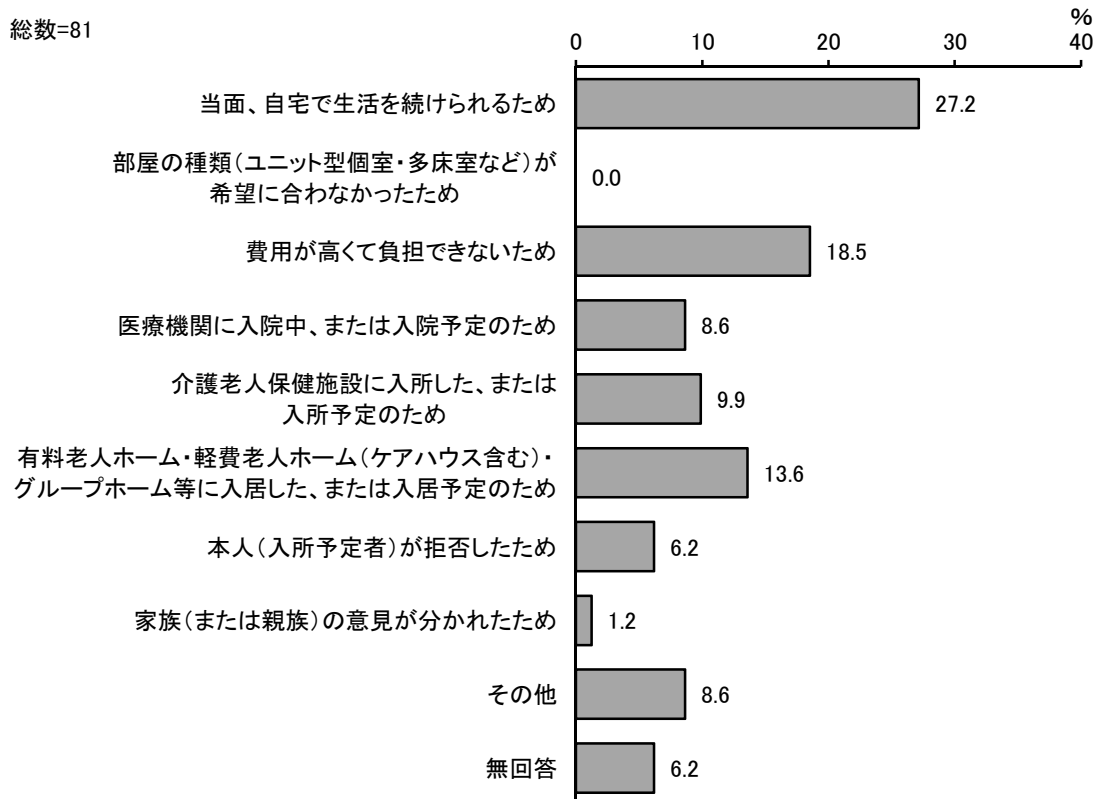
	全体	自宅（親族等の家に同居している場合やショートステイ利用中を含む）	有料老人ホーム	ケアハウス	サービステキ高年齢者向け住宅	グループホーム	介護老人保健施設	医療機関	その他	何の施設かわからない	無回答
全体	351 100.0	147 41.9	36 10.3	4 1.1	11 3.1	31 8.8	86 24.5	22 6.3	10 2.8	-	4 1.1
ある	81 100.0	31 38.3	12 14.8	1 1.2	2 2.5	6 7.4	19 23.5	4 4.9	4 4.9	-	2 2.5
ない	248 100.0	109 44.0	20 8.1	2 0.8	9 3.6	21 8.5	64 25.8	18 7.3	5 2.0	-	-
無回答	22 100.0	7 31.8	4 18.2	1 4.5	-	4 18.2	3 13.6	-	1 4.5	-	2 9.1

(18) 辞退理由

(17) で 1 (入所を辞退したことがある) と回答した方

Q11-1. 辞退した理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つに○)

「当面、自宅で生活を続けられるため」が 27.2%と最も多く、次いで「費用が高くて負担できないため」が 18.5%、「有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス含む)・グループホーム等に入居した、または入居予定のため」が 13.6%、「介護老人保健施設に入所した、または入所予定のため」が 9.9%と続いています。

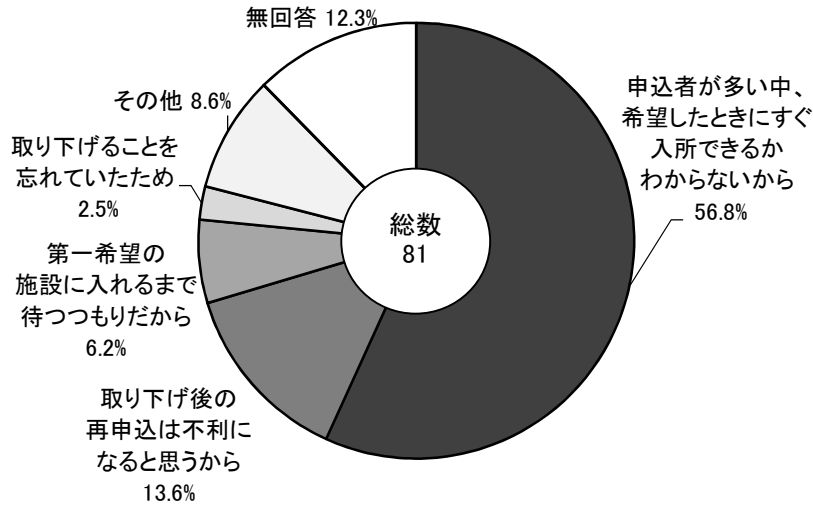


(19) 申込みを取り下げない理由

(17) で 1 (入所を辞退したことがある) と回答した方

Q11-2. 入所を辞退した後も、入所申込みを取り下げている理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つに○)

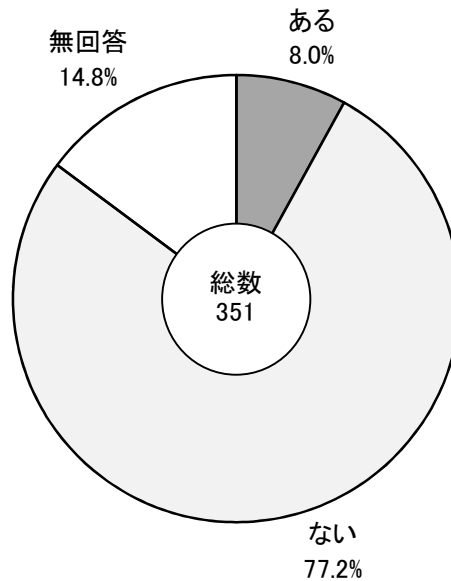
「申込者が多い中、希望したときにすぐ入所できるかわからないから」が 56.8%と最も多く、次いで「取り下げ後の再申込は不利になると思うから」が 13.6%、「第一希望の施設に入れるまで待つつもりだから」が 6.2%、「取り下げのことを忘れていたため」が 2.5%と続いています。



(20) 入所拒否

Q12. 特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがありますか。(どちらかに○)

「ある」が 8.0%、「ない」が 77.2%となっています。

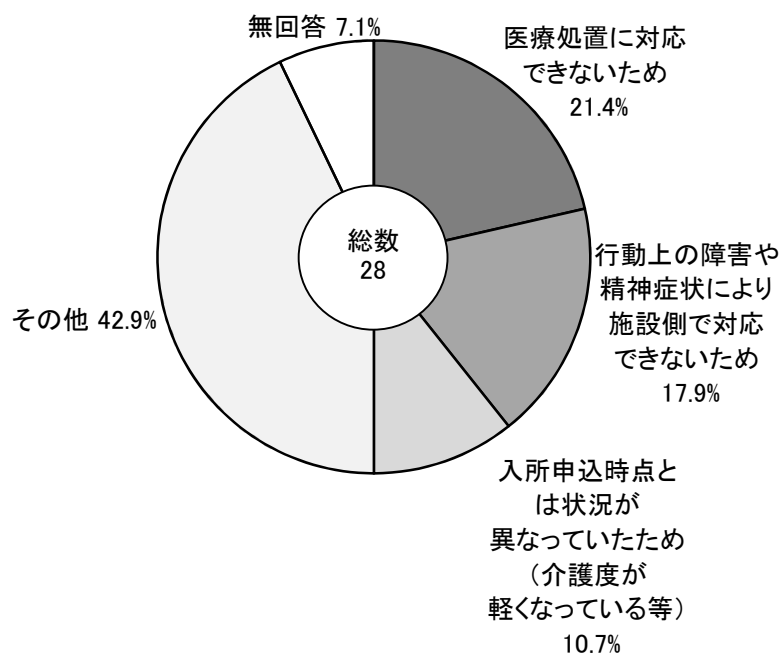


(21) 拒否理由

(20) で 1 (入所を施設側から断られたことがある) と回答した方

Q12-1. 入所を断られた理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つに○)

「医療処置に対応できないため」が 21.4%と多く、次いで「行動上の障害や精神症状により施設側で対応できないため」が 17.9%、「入所申込時点とは状況が異なっていたため(介護度が軽くなっている等)」が 10.7%と続いています。

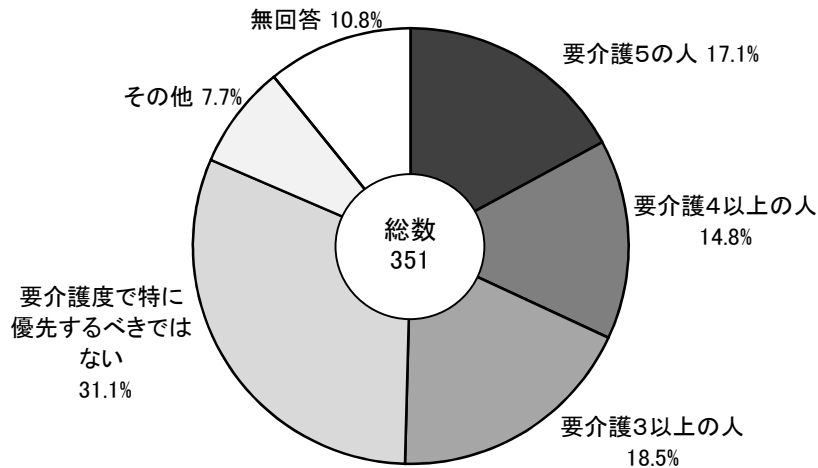


3 特別養護老人ホームへの入所にかかる優先順位について

(1) 優先順位における要介護度

Q13. 特別養護老人ホーム入所の優先順位について、要介護状態区分がどれくらいの人を特に優先すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(1つに○)

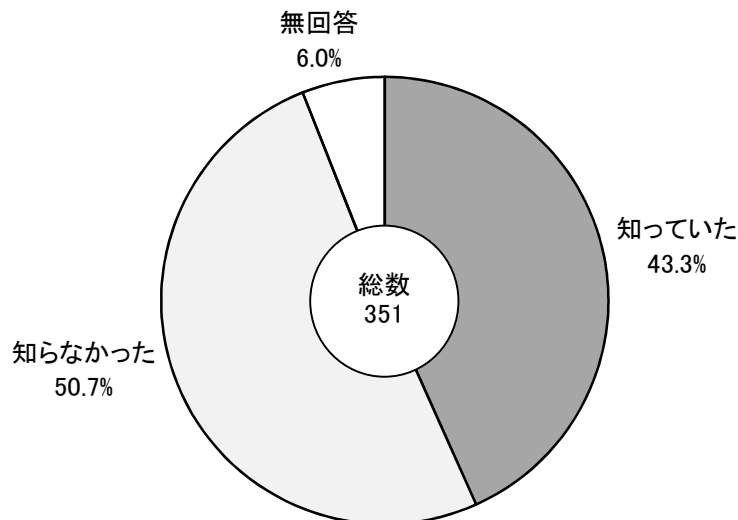
「要介護度で特に優先するべきではない」が31.1%と最も多く、次いで「要介護3以上の人」が18.5%、「要介護5の人」が17.1%、「要介護4以上の人」が14.8%と続いています。



(2) 優先順位の認知状況

Q14. この基準によって入所の優先順位が決まっていることを知っていますか。(どちらかに○)

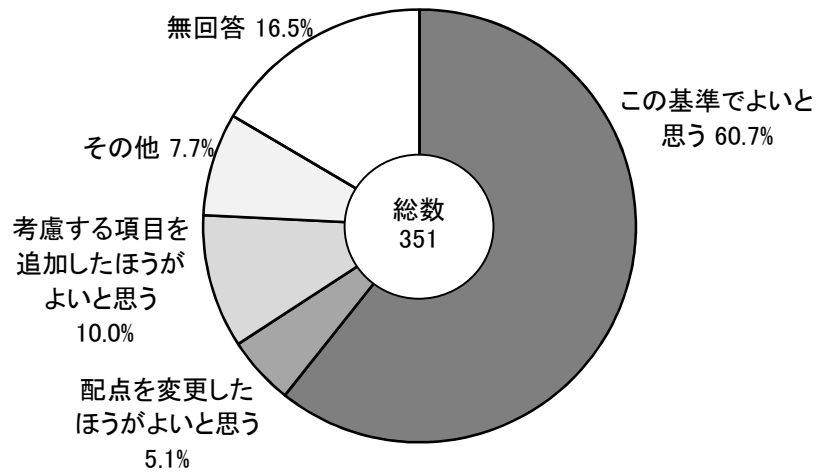
「知っていた」が43.3%、「知らなかった」が50.7%となっています。



(3) 優先順位に関する考え

Q15. この基準によって入所の優先順位を決めることについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

「この基準でよいと思う」が60.7%と最も多く、次いで「考慮する項目を追加したほうがよいと思う」が10.0%、「配点を変更したほうがよいと思う」が5.1%と続いています。

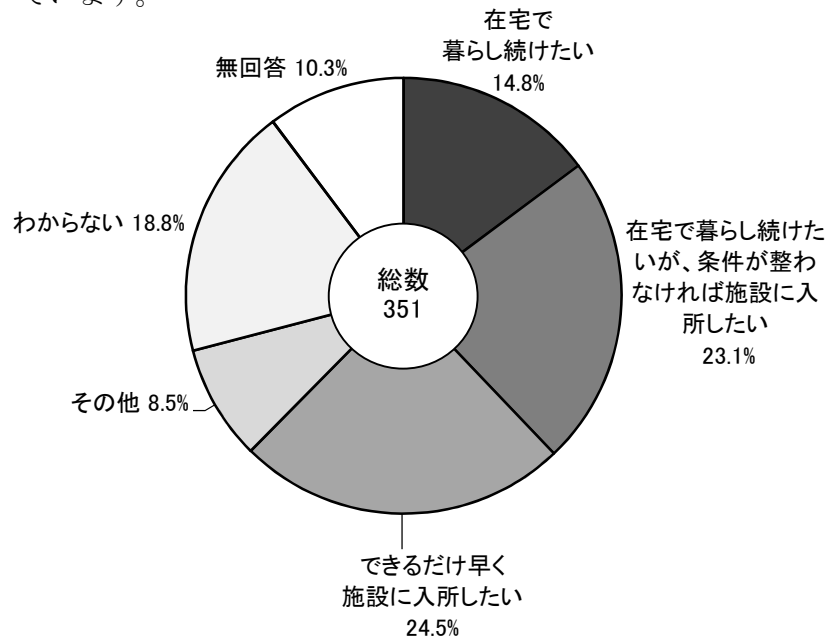


4 今後の生活や介護保険サービスについて

(1) 今後の意向

Q16. ご本人（入所予定者）は施設への入所に関してどのように考えていますか。（1つに○）

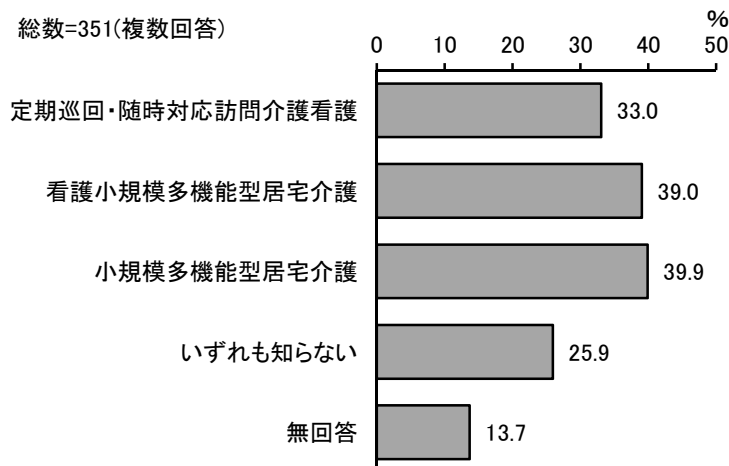
「できるだけ早く施設に入所したい」が 24.5%と最も多く、次いで「在宅で暮らし続けたいが、条件が整わなければ施設に入所したい」が 23.1%、「わからない」が 18.8%、「在宅で暮らし続けたい」が 14.8%と続いています。



(2) 在宅サービスの認知状況

Q17. 松戸市では「要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活し続けたい」という方の希望を実現するため、重度の方を支える在宅サービスの整備を進めていますが、これらの在宅サービスを知っていますか。（あてはまるもの全てに○）

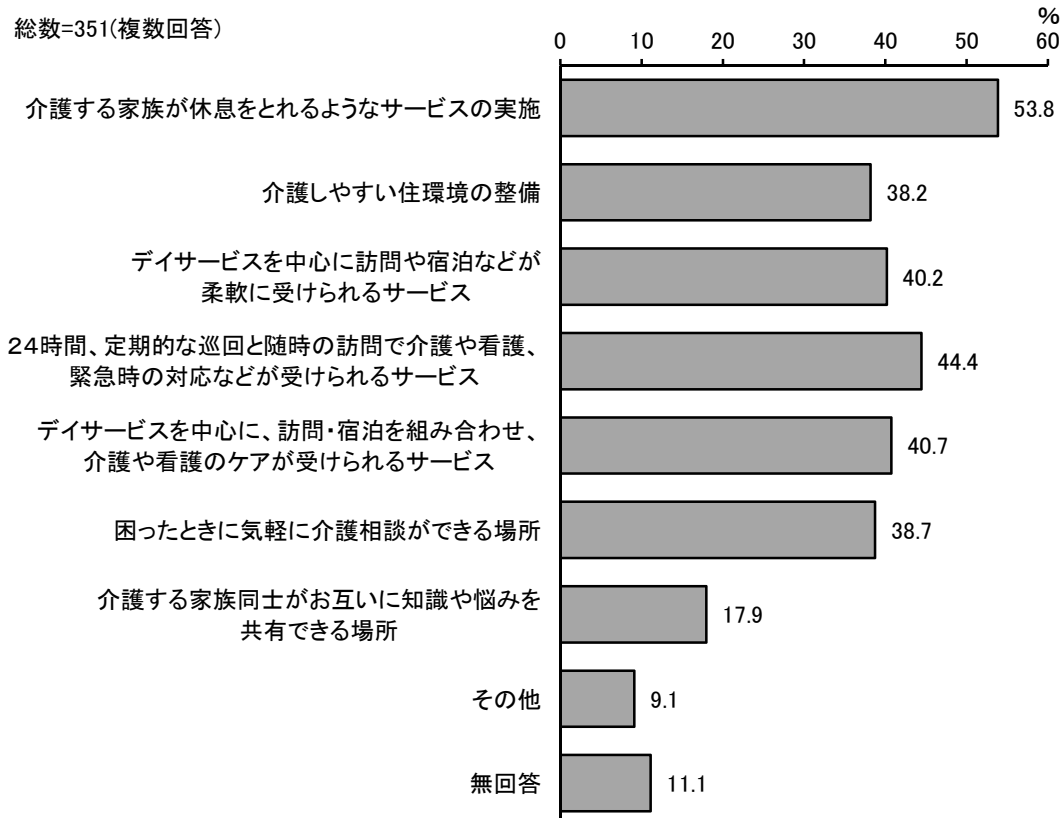
「小規模多機能型居宅介護」が 39.9%と最も多く、次いで「看護小規模多機能型居宅介護」が 39.0%、「定期巡回・随時対応訪問介護看護」が 33.0%、「いずれも知らない」が 25.9%と続いています。



(3) 在宅生活に必要なこと

Q18. ご本人（入所予定者）が可能な限り在宅で暮らしていくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

「介護する家族が休息をとれるようなサービスの実施」が53.8%と最も多く、次いで「24時間、定期的な巡回と随時の訪問で介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス」が44.4%、「デイサービスを中心に、訪問・宿泊を組み合わせ、介護や看護のケアが受けられるサービス」が40.7%、「デイサービスを中心に訪問や宿泊などが柔軟に受けられるサービス」が40.2%と続いています。



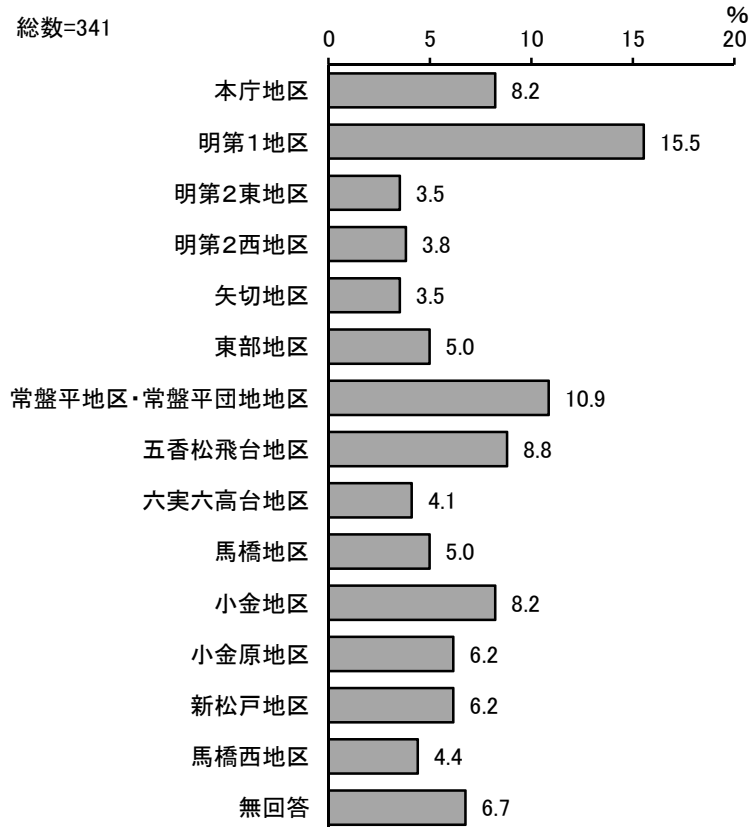
VI 町会・自治会等調査の結果

1 町会等の基本情報について

(1) 日常生活圏域

F 1. 町会等の地域を教えてください。(1つに○) (町会等の範囲が複数の字にまたがっている場合、記入者がお住まいの地域(字名)に○を付けてください。)

「明第1地区」が15.5%と最も多く、次いで「常盤平地区・常盤平団地地区」が10.9%、「五香松飛台地区」が8.8%、「本庁地区」及び「小金地区」が8.2%と続いています。



(2) 名称

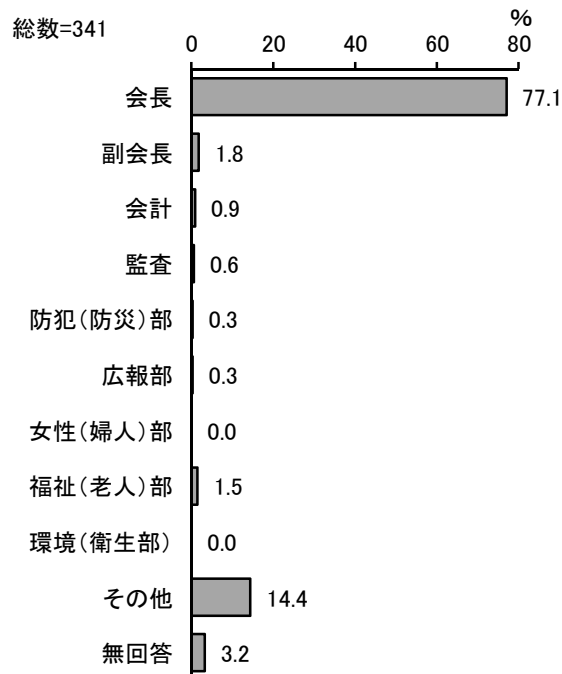
F 2. あなたの町会等の名称を記入してください。

(※ 本設問については、集計結果を省略します)

(3) 役職・組織部

F 3. 町会等内におけるあなたの役職もしくは組織部はどれですか。(1つに○)

「会長」が77.1%と最も多く、次いで「副会長」が1.8%、「福祉(老人)部」が1.5%、「会計」が0.9%と続いています。



(4) 福祉部の創設時期

(3) で8 (福祉(老人)部) と回答した方

F 3-1. 高齢者を支えるための福祉(老人)部は何年前からありますか。(1つに○)

本設問に回答したのは5名です。「10年以上」が3名、「3年以上10年未満」が2名となっています。

(5) 福祉部の会議開催頻度

(3) で8 (福祉(老人)部) と回答した方

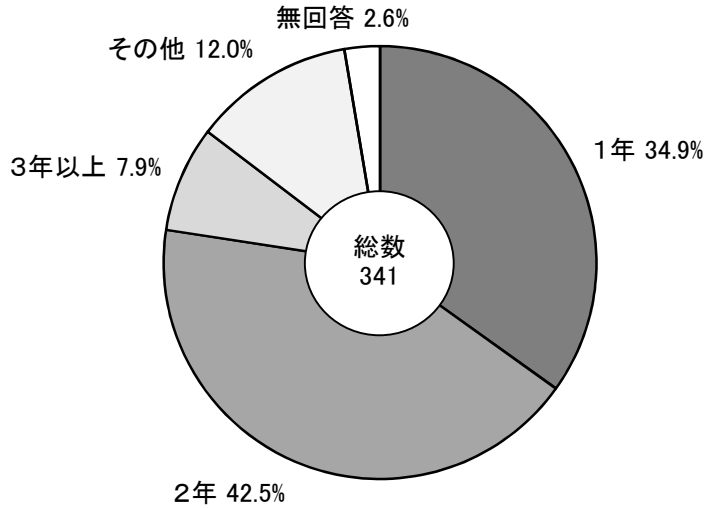
F 3-2. 福祉(老人)部における会議等の開催頻度はどのくらいですか。(1つに○)

本設問に回答したのは5名です。「1か月に1回以上」が4名、次いで「6か月に1回以上」が1名となっています。

(6) 会長の任期

F 4. 町会等における会長の任期はどのくらいですか。(1つに○)

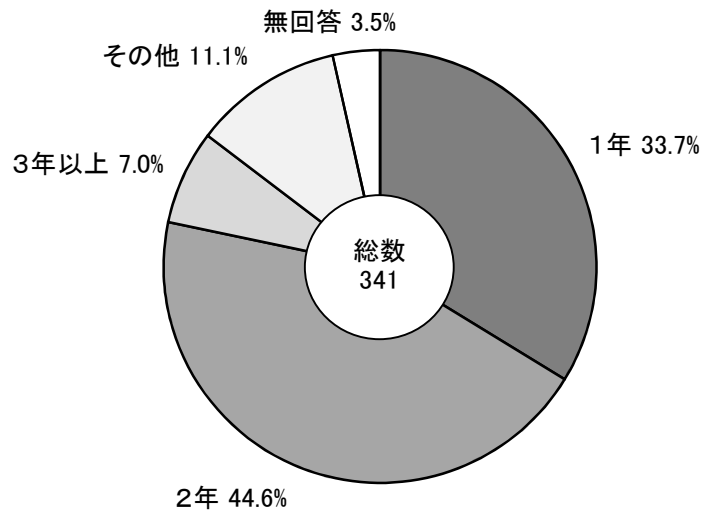
「2年」が42.5%と最も多く、次いで「1年」が34.9%、「3年以上」が7.9%と続いています。



(7) 役員の任期

F 5. 町会等における役員（会長以外）の任期はどのくらいですか。(1つに○)

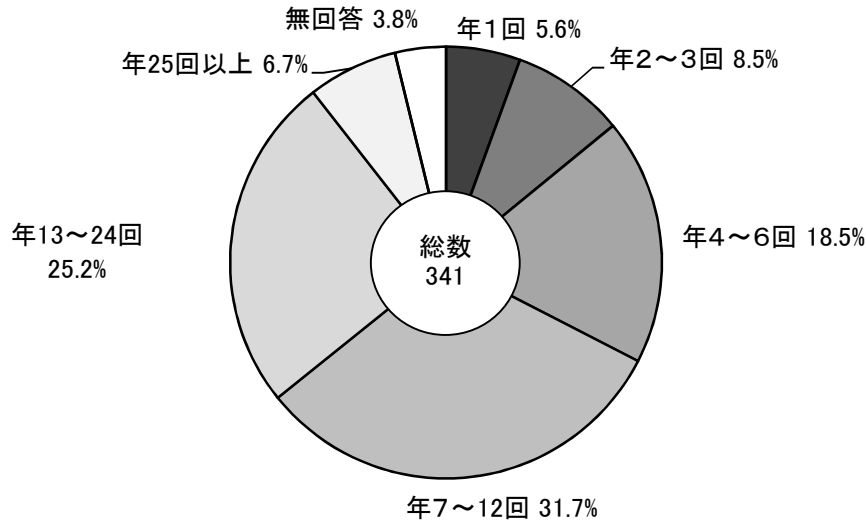
「2年」が44.6%と最も多く、次いで「1年」が33.7%、「3年以上」が7.0%と続いています。



(8) 会合の開催頻度

F 6. 町会等では年間（4月～翌年3月）でどれくらいの会合を行っていますか。（1つに○）

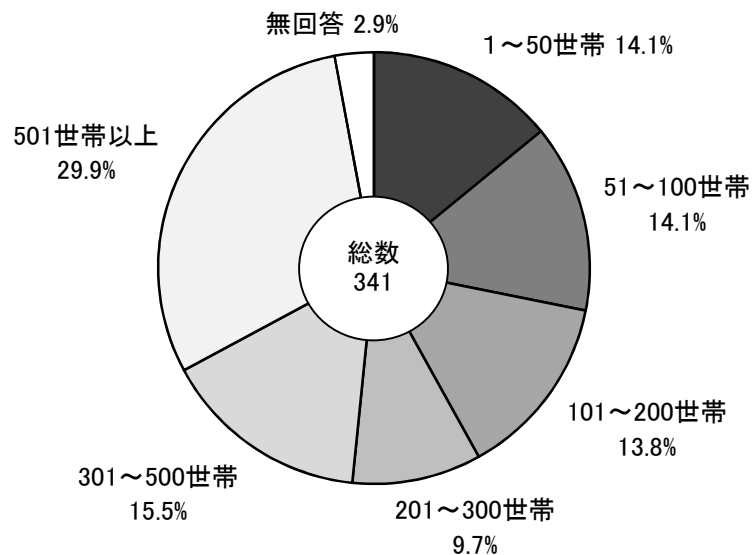
「年7～12回」が31.7%と最も多く、次いで「年13～24回」が25.2%、「年4～6回」が18.5%、「年2～3回」が8.5%と続いています。



(9) 加入世帯数

F 7. 町会等の加入世帯数はどのくらいですか。（1つに○）

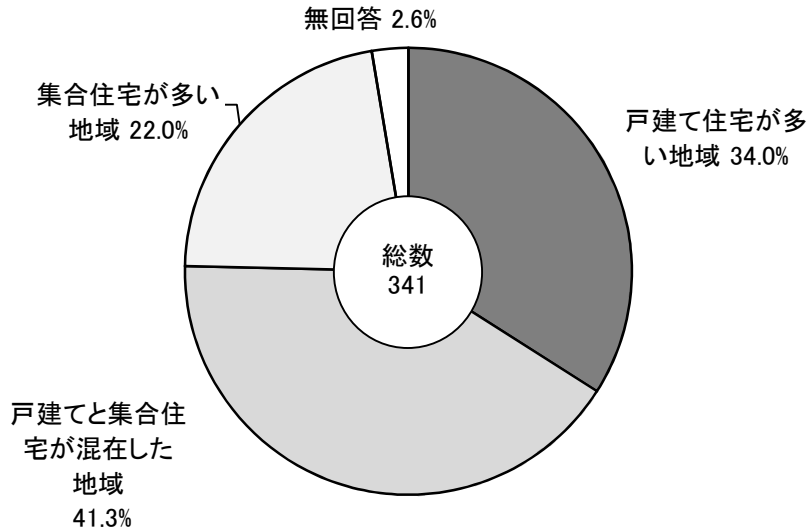
「501世帯以上」が29.9%と最も多く、次いで「301～500世帯」が15.5%、「1～50世帯」と「51～100世帯」がそれぞれ14.1%と続いています。



(10) 居住形態の特徴

F 8. 町会等内は、どのような住居形態が多い地域ですか。(1つに○)

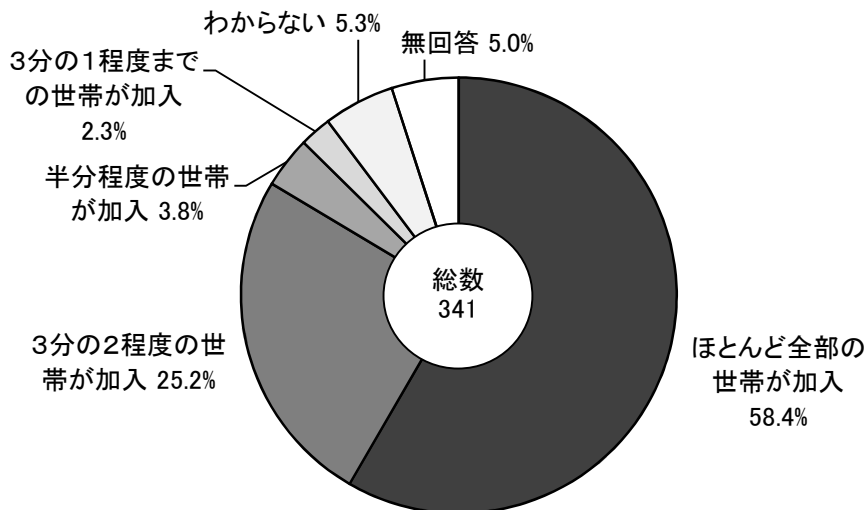
「戸建てと集合住宅が混在した地域」が41.3%と最も多く、次いで「戸建て住宅が多い地域」が34.0%、「集合住宅が多い地域」が22.0%と続いています。



(11) 加入率

F 9. 町会等の加入率はどのくらいですか。(1つに○)

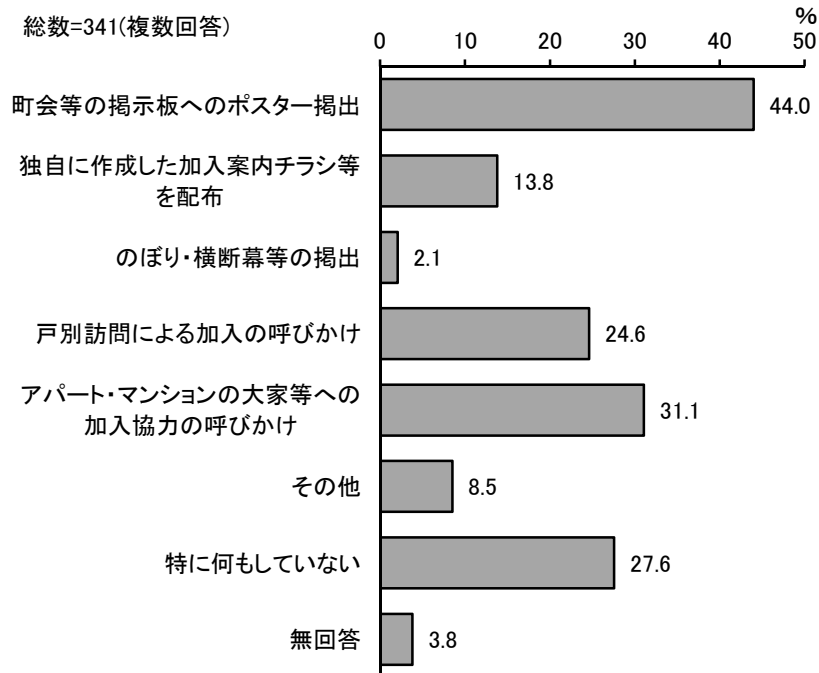
「ほとんど全部の世帯が加入」が58.4%と最も多く、次いで「3分の2程度の世帯が加入」が25.2%、「わからない」が5.3%、「半分程度の世帯が加入」が3.8%と続いています。



(12) 加入促進活動

F10. 町会等では、何らかの加入促進活動をされていますか。(あてはまるもの全てに○)

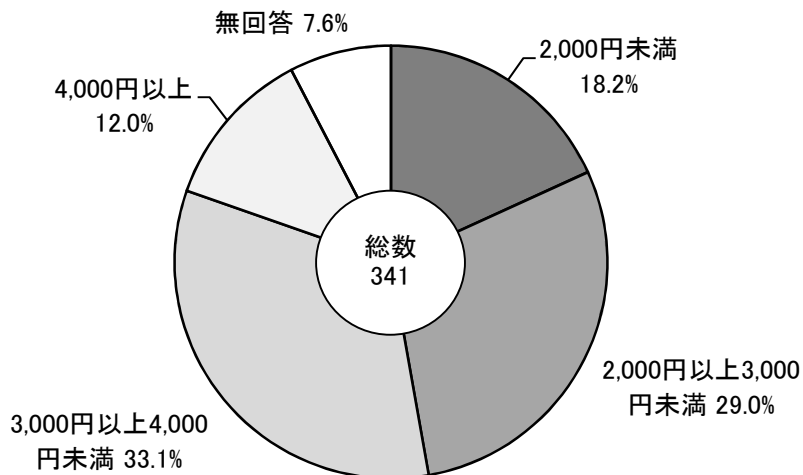
「町会等の掲示板へのポスター掲出」が44.0%と最も多く、次いで「アパート・マンションの大家等への加入協力の呼びかけ」が31.1%、「戸別訪問による加入の呼びかけ」が24.6%、「独自に作成した加入案内チラシ等を配布」が13.8%と続いています。なお、「特に何もしていない」が27.6%となっています。



(13) 会費

F11. 町会等における会費（法人以外）の1世帯あたりの1年間の金額はどのくらいですか。(1つに○)

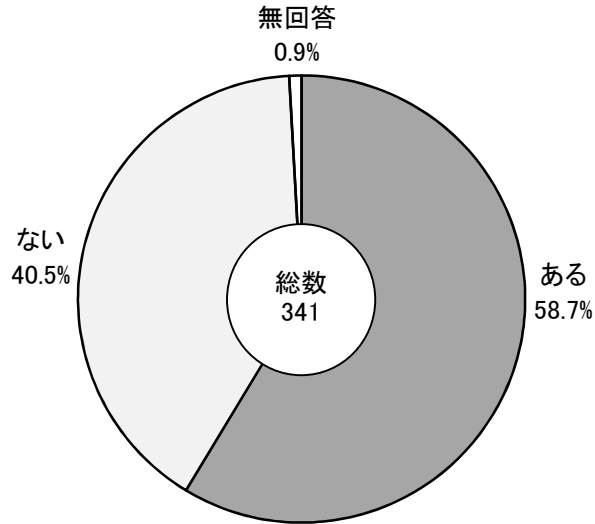
「3,000円以上4,000円未満」が33.1%と最も多く、次いで「2,000円以上3,000円未満」が29.0%、「2,000円未満」が18.2%、「4,000円以上」が12.0%と続いています。



(14) 会館・集会所

F12. 町会等には会館・集会所はありますか。(どちらかに○)

「ある」が58.7%、「ない」が40.5%となっています。



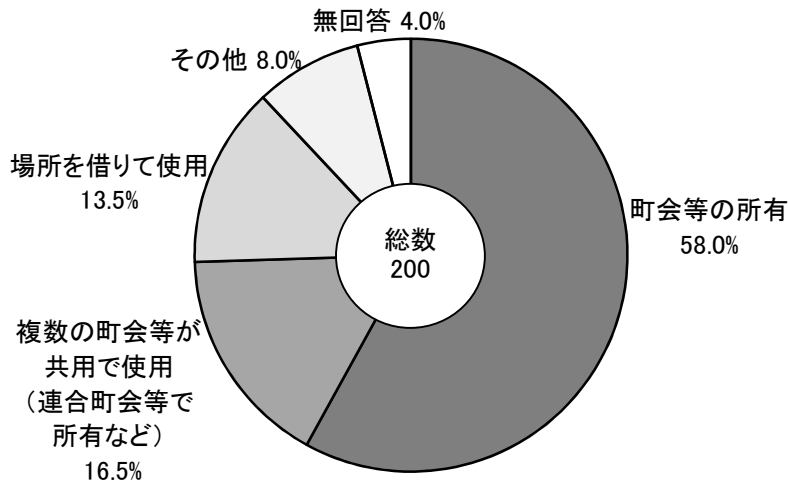
圏域別に見ると新松戸地区では「ある」が90.5%となっています。

		全体	ある	ない	無回答
全体		341	200	138	3
		100.0	58.7	40.5	0.9
日常生活圏域	本庁地区	28	15	13	-
		100.0	53.6	46.4	-
	明第1地区	53	25	27	1
		100.0	47.2	50.9	1.9
	明第2東地区	12	9	3	-
		100.0	75.0	25.0	-
	明第2西地区	13	8	5	-
		100.0	61.5	38.5	-
	矢切地区	12	8	4	-
		100.0	66.7	33.3	-
	東部地区	17	11	6	-
		100.0	64.7	35.3	-
	常盤平地区・常盤平団地地区	37	17	19	1
		100.0	45.9	51.4	2.7
	五香松飛台地区	30	16	14	-
	100.0	53.3	46.7	-	
六実六高台地区	14	10	4	-	
	100.0	71.4	28.6	-	
馬橋地区	17	13	4	-	
	100.0	76.5	23.5	-	
小金地区	28	18	9	1	
	100.0	64.3	32.1	3.6	
小金原地区	21	7	14	-	
	100.0	33.3	66.7	-	
新松戸地区	21	19	2	-	
	100.0	90.5	9.5	-	
馬橋西地区	15	10	5	-	
	100.0	66.7	33.3	-	
無回答	23	14	9	-	
	100.0	60.9	39.1	-	

(15) 会館・集会所の形態

(14) で 1 (町会等には会館・集会所がある) と回答した方
F12-1. 会館・集会所の形態はどれに当たりますか。(1つに○)

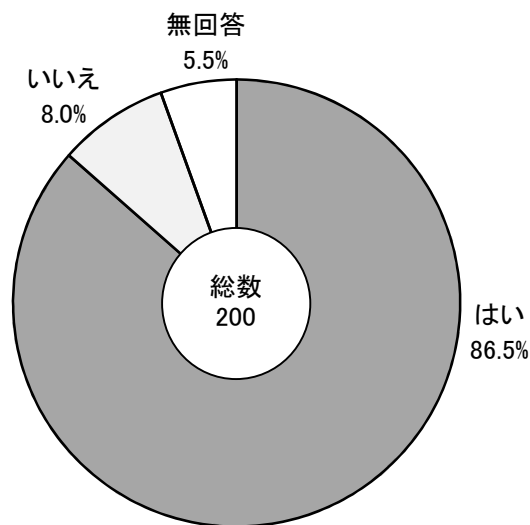
「町会等の所有」が 58.0%と最も多く、次いで「複数の町会等が共用で使用 (連合町会等で所有など)」が 16.5%、「場所を借りて使用」が 13.5%と続いています。



(16) 会館・集会所の行事外使用

(14) で 1 (町会等には会館・集会所がある) と回答した方
F12-2. 会館・集会所は、町会等の行事以外で 사용할ことができますか。(どちらかに○)

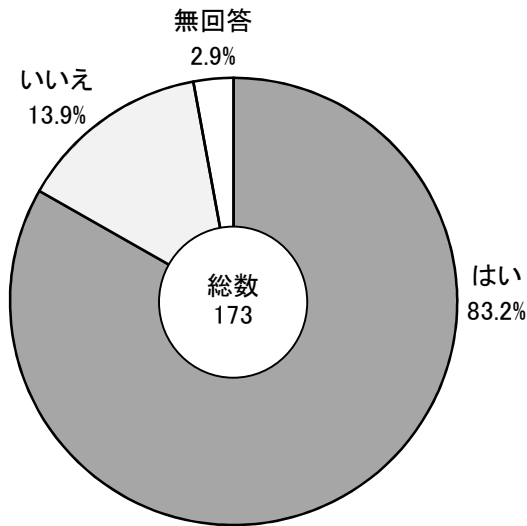
「はい」が 86.5%、「いいえ」が 8.0%となっています。



(17) 行事外利用の利用料

(16) で 1 (会館・集会所は、町会等の行事以外で使うことができる) と回答した方
F12-2-1. 会館・集会所を町会等の行事以外で貸出する場合、利用料を徴収していますか。
(どちらかに○)

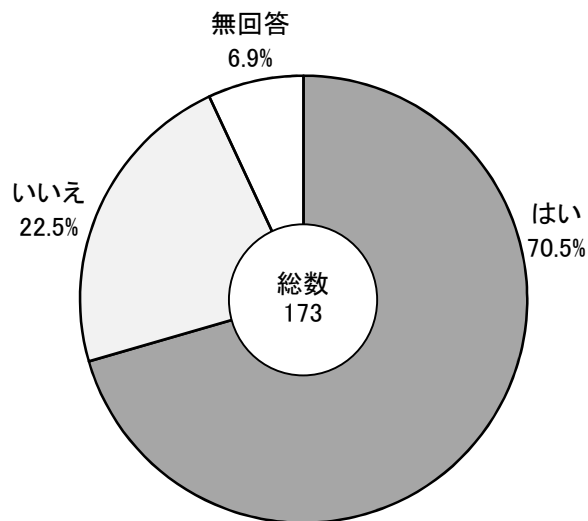
「はい」が 83.2%、「いいえ」が 13.9%となっています。



(18) 一般の利用

(16) で 1 (会館・集会所は、町会等の行事以外で使用する事ができる) と回答した方 F12-2-2. 町会等以外の一般の方が使用することもできますか。(どちらかに○)

「はい」が70.5%、「いいえ」が22.5%となっています。



圏域別に見るとすべての圏域で「はい」が70%以上となっています。

		全体	はい	いいえ	無回答
全体		173 100.0	122 70.5	39 22.5	12 6.9
日常生活圏域	本庁地区	12 100.0	8 66.7	3 25.0	1 8.3
	明第1地区	23 100.0	17 73.9	4 17.4	2 8.7
	明第2東地区	8 100.0	6 75.0	2 25.0	-
	明第2西地区	7 100.0	6 85.7	-	1 14.3
	矢切地区	6 100.0	5 83.3	-	1 16.7
	東部地区	10 100.0	7 70.0	3 30.0	-
	常盤平地区・常盤平団地地区	15 100.0	10 66.7	3 20.0	2 13.3
	五香松飛台地区	15 100.0	11 73.3	1 6.7	3 20.0
	六実六高台地区	7 100.0	4 57.1	3 42.9	-
	馬橋地区	11 100.0	9 81.8	2 18.2	-
	小金地区	13 100.0	9 69.2	3 23.1	1 7.7
	小金原地区	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3
	新松戸地区	19 100.0	12 63.2	7 36.8	-
	馬橋西地区	9 100.0	5 55.6	4 44.4	-
	無回答	11 100.0	8 72.7	3 27.3	-

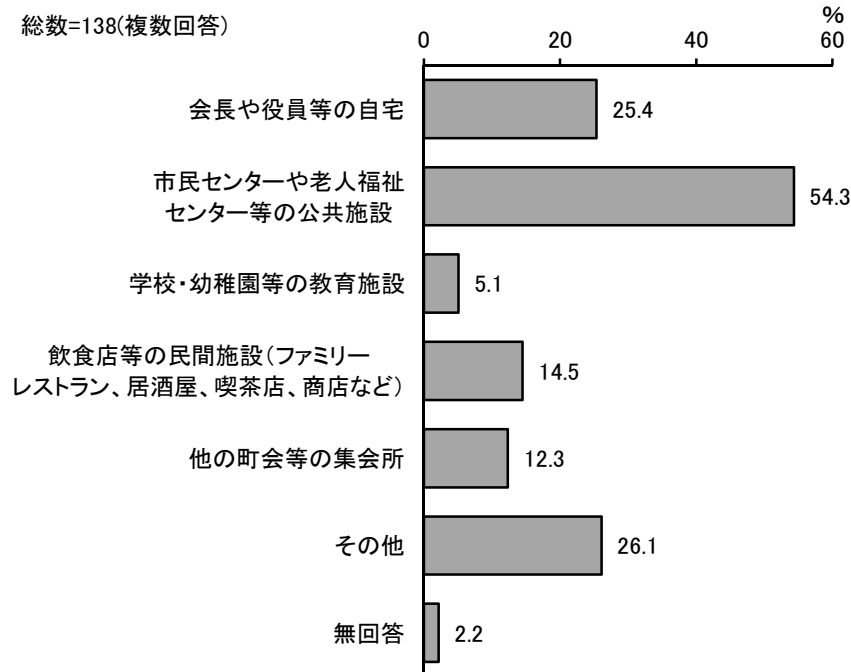
(19) 会議等の開催場所

(14) で 2 (町会等には会館・集会所がない) と回答した方

F12-3. 会館・集会所がない場合、打合せや会議等はどこで行っていますか。

(あてはまるもの全てに○)

「市民センターや老人福祉センター等の公共施設」が 54.3%と最も多く、次いで「会長や役員等の自宅」が 25.4%、「飲食店等の民間施設 (ファミリーレストラン、居酒屋、喫茶店、商店など)」が 14.5%、「他の町会等の集会所」が 12.3%と続いています。

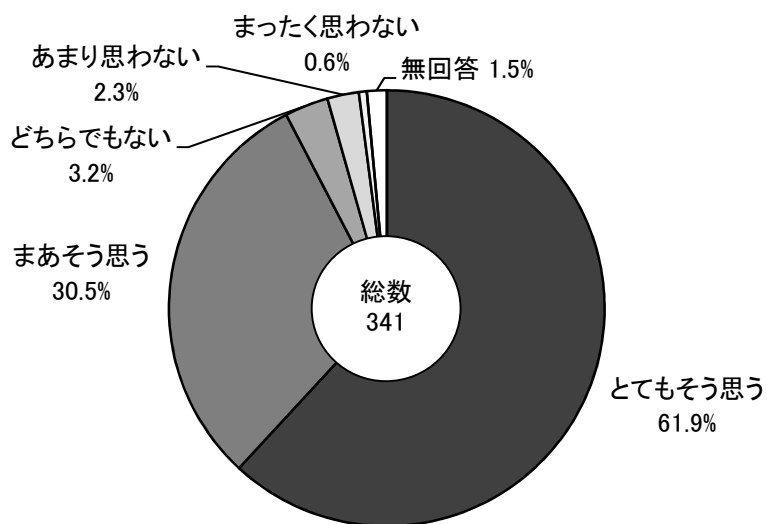


2 地域づくり・支え合い活動等について

(1) 支え合い活動

Q1. 今後、少子高齢化が深刻化し人口も減少傾向にあります。町会等では、人と人とのつながりや支え合いが必要だと思いますか。(1つに○)

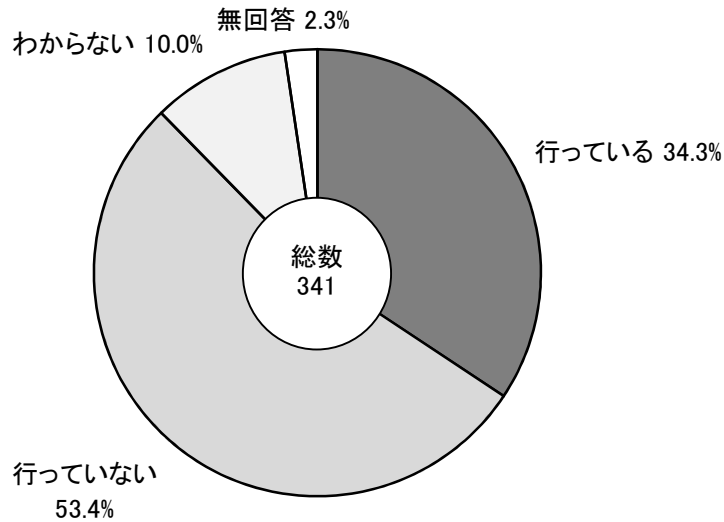
「思う」が92.4%と最も多く、次いで「どちらでもない」が3.2%、「思わない」が2.9%と続いています。



(2) 助け合い活動

Q2. 町会等が主体となって、高齢者の日常生活における支え合いや助け合い活動を行っていますか。(1つに○)

「行っていない」が53.4%と最も多く、次いで「行っている」が34.3%、「わからない」が10.0%と続いています。



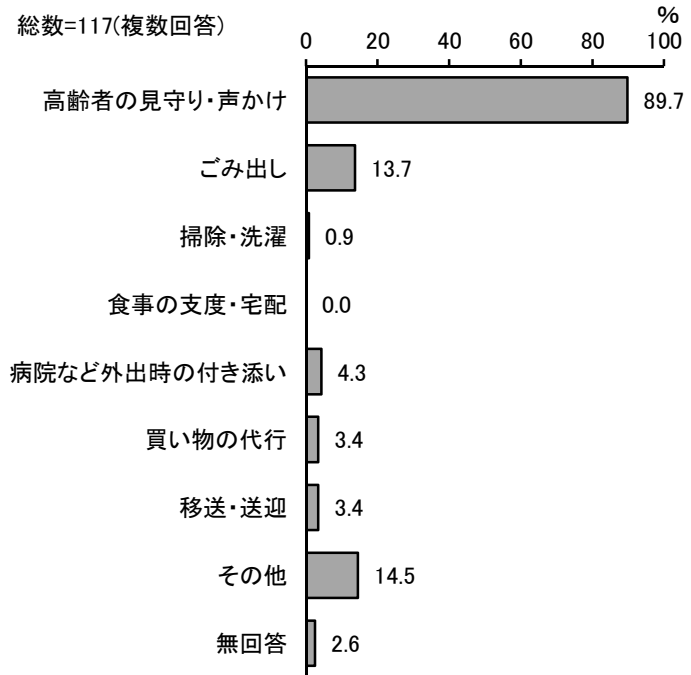
圏域別に見ると明第2西地区と新松戸地区で「行っている」が50%以上となっています。

		全体	行っている	行っていない	わからない	無回答
全体		341 100.0	117 34.3	182 53.4	34 10.0	8 2.3
日常生活圏域	本庁地区	28 100.0	6 21.4	14 50.0	5 17.9	3 10.7
	明第1地区	53 100.0	20 37.7	25 47.2	6 11.3	2 3.8
	明第2東地区	12 100.0	4 33.3	4 33.3	4 33.3	-
	明第2西地区	13 100.0	7 53.8	3 23.1	2 15.4	1 7.7
	矢切地区	12 100.0	4 33.3	8 66.7	-	-
	東部地区	17 100.0	3 17.6	13 76.5	1 5.9	-
	常盤平地区・常盤平団地地区	37 100.0	14 37.8	16 43.2	6 16.2	1 2.7
	五香松飛台地区	30 100.0	8 26.7	18 60.0	4 13.3	-
	六実六高台地区	14 100.0	6 42.9	7 50.0	1 7.1	-
	馬橋地区	17 100.0	4 23.5	13 76.5	-	-
	小金地区	28 100.0	10 35.7	14 50.0	3 10.7	1 3.6
	小金原地区	21 100.0	6 28.6	14 66.7	1 4.8	-
	新松戸地区	21 100.0	11 52.4	10 47.6	-	-
	馬橋西地区	15 100.0	4 26.7	11 73.3	-	-
	無回答	23 100.0	10 43.5	12 52.2	1 4.3	-

(3) 活動内容

(2) で 1 (町会等が主体となって、支え合いや助け合い活動を行っている) と回答した方
 Q2-1. どのような助け合い活動を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

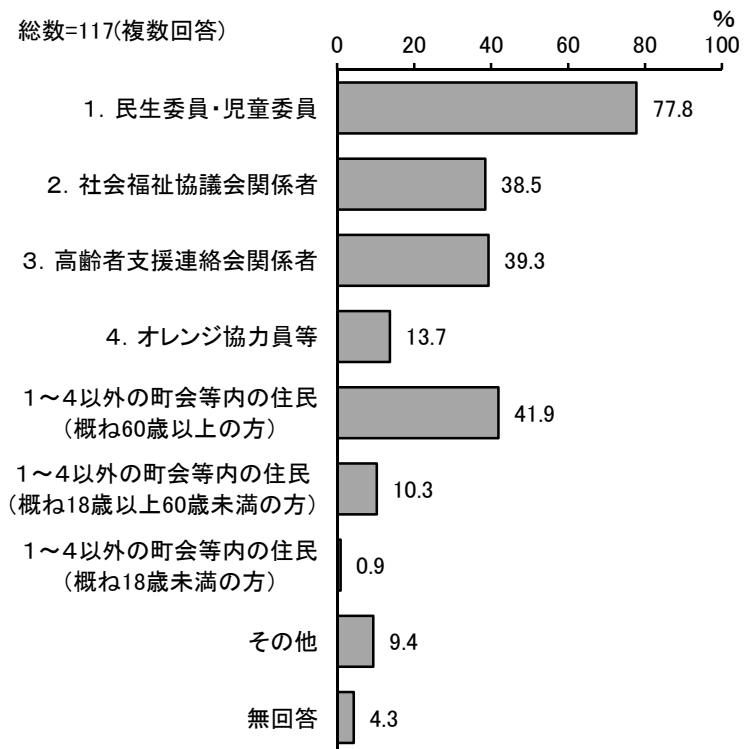
「高齢者の見守り・声かけ」が 89.7% と最も多く、次いで「ごみ出し」が 13.7%、「病院など外出時の付き添い」が 4.3%、「買い物の代行」及び「移送・送迎」が 3.4%と続いています。



(4) 参加者

(2) で 1 (町会等が主体となって、支え合いや助け合い活動を行っている) と回答した方
 Q2-2. 助け合い活動に参加しているのは、どのような方ですか。(あてはまるもの全てに○)

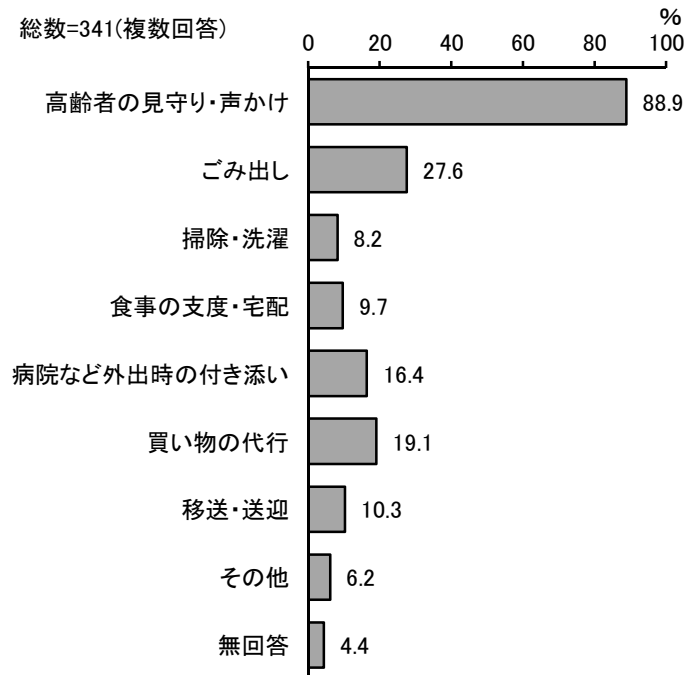
「民生委員・児童委員」が 77.8% と最も多く、次いで「1～4以外の町会等内の住民 (概ね 60 歳以上の方)」が 41.9%、「高齢者支援連絡会関係者」が 39.3%、「社会福祉協議会関係者」が 38.5%と続いています。



(5) 高齢者のために必要な活動

Q3. 町会等では、今後、少子高齢化が深刻化していく状況において、高齢者のためにどのような助け合い活動が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

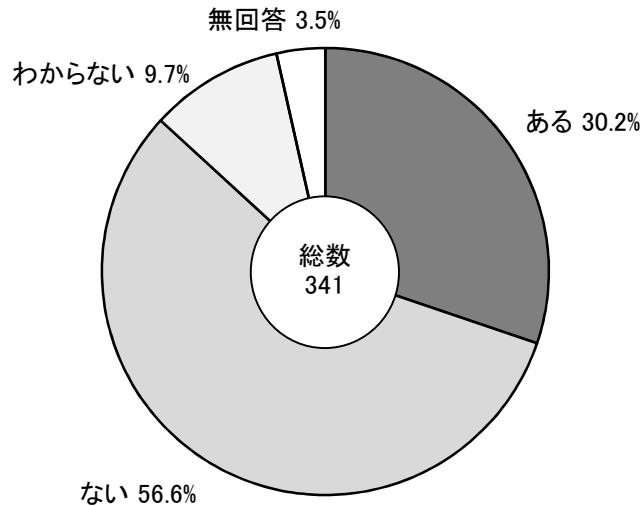
「高齢者の見守り・声かけ」が88.9%と最も多く、次いで「ごみ出し」が27.6%、「買い物の代行」が19.1%、「病院など外出時の付き添い」が16.4%と続いています。



(6) 通いの場

Q4. 町会等が主体となって実施している、人との交流や体操等ができる高齢者のための通いの場（以下、「通いの場」という。）はありますか。（1つに○）

「ない」が56.6%と最も多く、次いで「ある」が30.2%、「わからない」が9.7%と続いています。



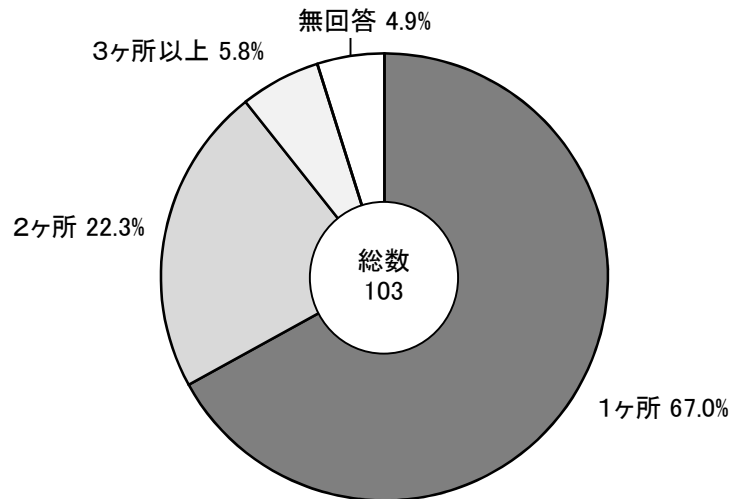
圏域別に見ると明第2西地区と新松戸地区で「ある」が60%以上となっています。

		全体	ある	ない	わからない	無回答
全体		341	103	193	33	12
		100.0	30.2	56.6	9.7	3.5
日常生活圏域	本庁地区	28	5	15	6	2
		100.0	17.9	53.6	21.4	7.1
	明第1地区	53	11	33	5	4
		100.0	20.8	62.3	9.4	7.5
	明第2東地区	12	-	7	4	1
		100.0	-	58.3	33.3	8.3
	明第2西地区	13	8	2	3	-
		100.0	61.5	15.4	23.1	-
	矢切地区	12	4	8	-	-
		100.0	33.3	66.7	-	-
	東部地区	17	3	13	1	-
		100.0	17.6	76.5	5.9	-
	常盤平地区・常盤平団地地区	37	15	17	4	1
		100.0	40.5	45.9	10.8	2.7
	五香松飛台地区	30	11	16	3	-
		100.0	36.7	53.3	10.0	-
六実六高台地区	14	6	7	1	-	
	100.0	42.9	50.0	7.1	-	
馬橋地区	17	4	12	-	1	
	100.0	23.5	70.6	-	5.9	
小金地区	28	4	20	3	1	
	100.0	14.3	71.4	10.7	3.6	
小金原地区	21	7	12	1	1	
	100.0	33.3	57.1	4.8	4.8	
新松戸地区	21	13	8	-	-	
	100.0	61.9	38.1	-	-	
馬橋西地区	15	4	9	1	1	
	100.0	26.7	60.0	6.7	6.7	
無回答	23	8	14	1	-	
	100.0	34.8	60.9	4.3	-	

(7) 実施箇所数

(6) で1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q 4-1. 町会等が主体となって実施している通いの場は何ヶ所ありますか。(1つに○)

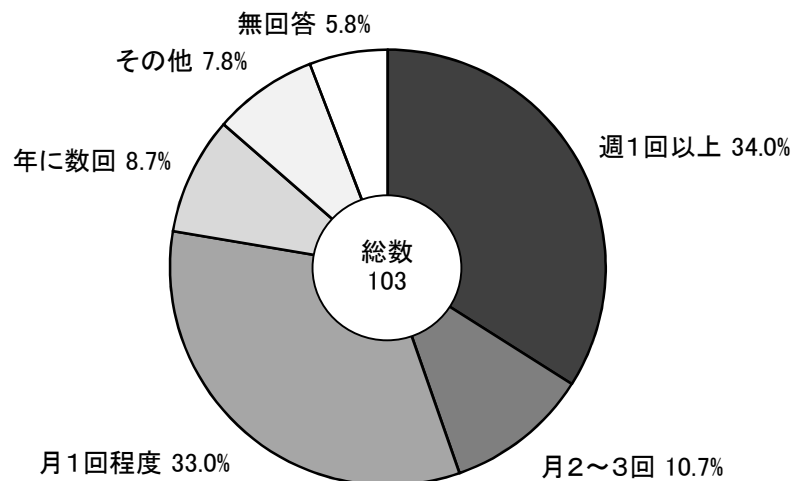
「1ヶ所」が67.0%と最も多く、次いで「2ヶ所」が22.3%、「3ヶ所以上」が5.8%と続いています。



(8) 開催頻度

(6) で1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q 4-2. 最も開催頻度の多い通いの場の開催頻度を教えてください。(1つに○)

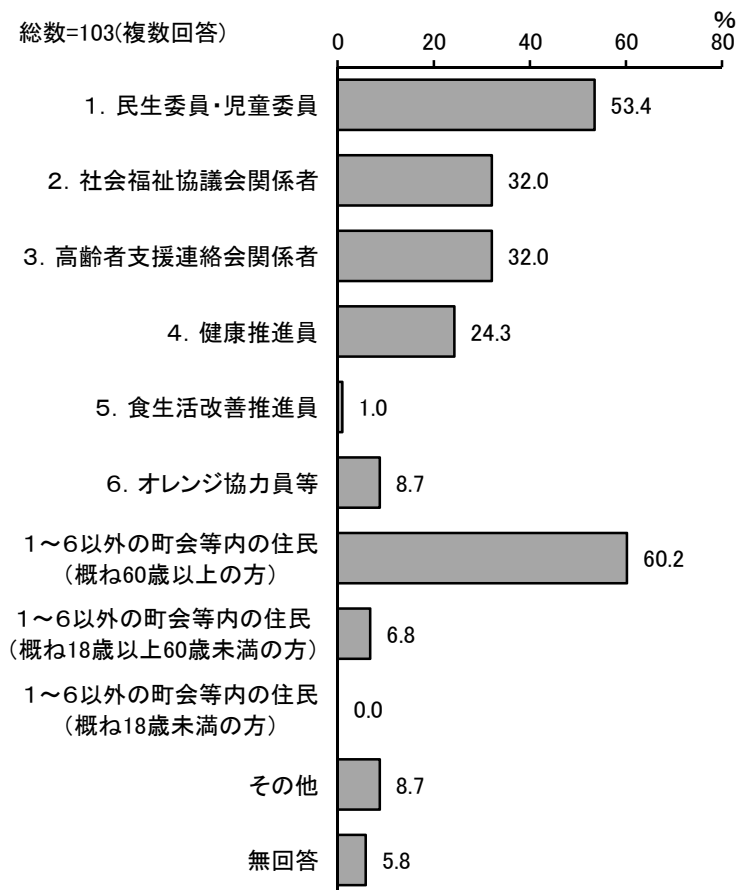
「週1回以上」が34.0%と最も多く、次いで「月1回程度」が33.0%、「月2～3回」が10.7%、「年に数回」が8.7%と続いています。



(9) 協力者

(6) で 1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q4-3. 通いの場の運営に協力している人(ボランティア)は、どのような方ですか。
 (あてはまるもの全てに○)

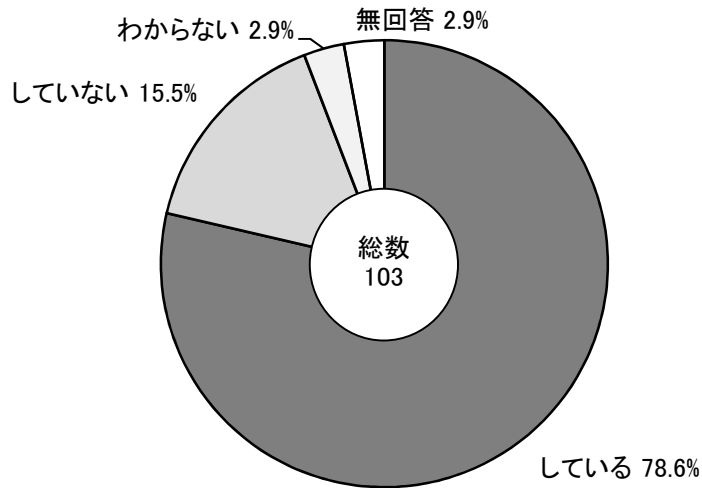
「1～6以外の町会等内の住民(概ね60歳以上の方)」が60.2%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が53.4%、「社会福祉協議会関係者」と「高齢者支援連絡会関係者」がそれぞれ32.0%と続いています。



(10) 費用負担

(6) で 1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q 4-4. 通いの場を運営するために町会等で費用を負担していますか。(1つに○)

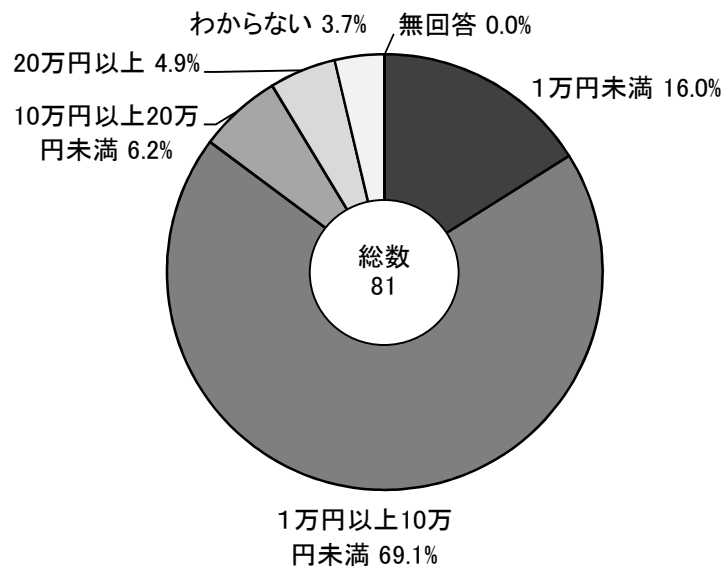
「している」が 78.6%と最も多く、次いで「していない」が 15.5%、「わからない」が 2.9%と続いています。



(11) 負担額

(10) で 1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q 4-4-1. 年間どのくらいの費用を負担していますか。(1つに○)

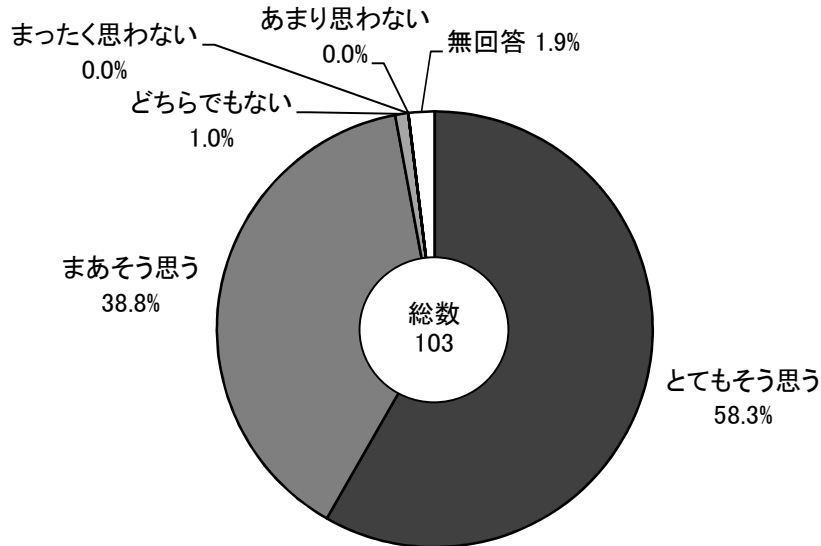
「1万円以上10万円未満」が 69.1%と最も多く、次いで「1万円未満」が 16.0%、「10万円以上20万円未満」が 6.2%、「20万円以上」が 4.9%と続いています。



(12) 開催してよいこと

(6) で 1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q 4-5. 通いの場を開催して良いことがあると思いますか。(1つに○)

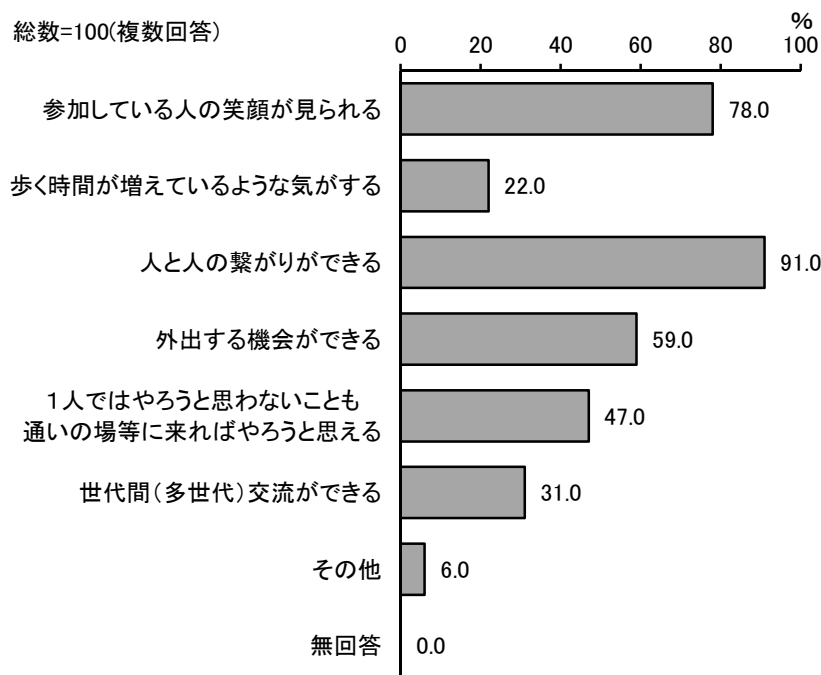
「とてもそう思う」が 58.3%と最も多く、次いで「まあそう思う」が 38.8%と続いています。



(13) よいことの内容

(12) で 1、2 (通いの場を開催して良いことがあると思う) と回答した方
 Q 4-5-1. それはどのようなことですか。(あてはまるもの全てに○)

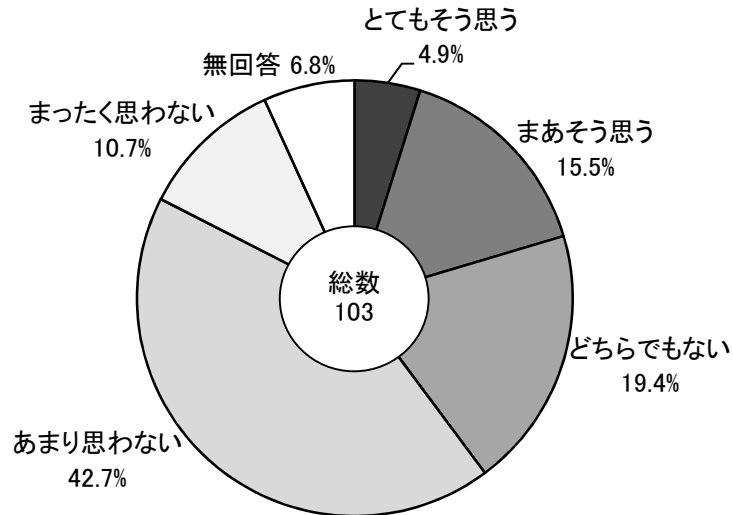
「人と人の繋がりができる」が 91.0%と最も多く、次いで「参加している人の笑顔が見られる」が 78.0%、「外出する機会ができる」が 59.0%、「1人ではやろうと思わないことも通いの場等に来ればやろうと思える」が 47.0%と続いています。



(14) 開催の負担感

(6) で 1 (町会等が主体となって実施している通いの場がある) と回答した方
 Q 4-6. 町会等が通いの場を開催することを負担だと感じていますか。(1つに○)

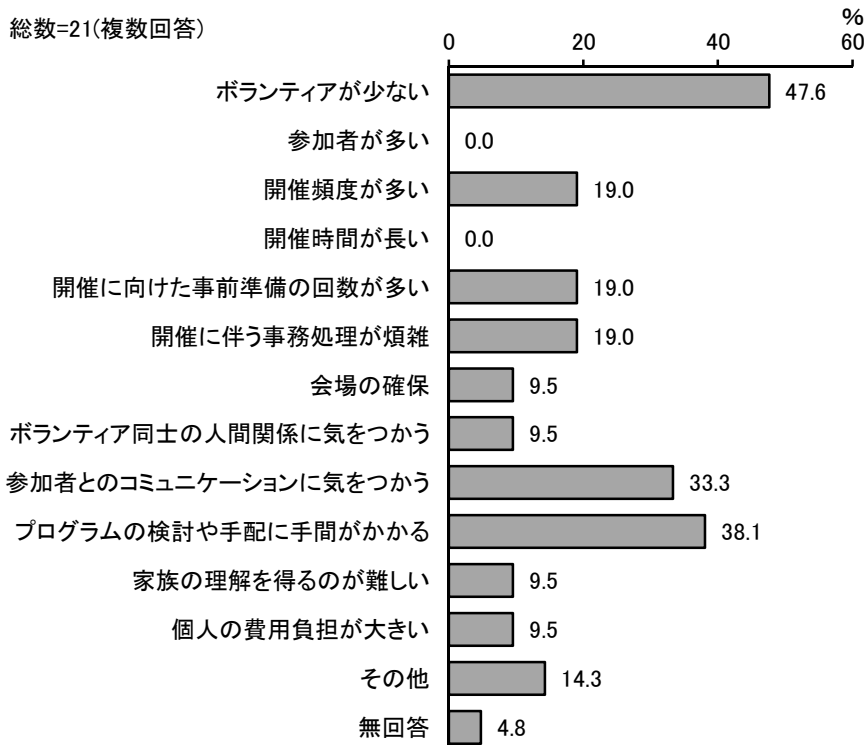
「あまり思わない」が 42.7%と最も多く、次いで「どちらでもない」が 19.4%と続いています。



(15) 負担感の内容

(14) で 1、2 (通いの場を開催することを負担だと思う) と回答した方
 Q 4-6-1. どのような点で負担だと感じていますか。(あてはまるもの全てに○)

「ボランティアが少ない」が 47.6%と最も多く、次いで「プログラムの検討や手配に手間がかかる」が 38.1%、「参加者とのコミュニケーションに気をつかう」が 33.3%、「開催頻度が多い」、「開催に向けた事前準備の回数が多い」、「開催に伴う事務処理が煩雑」が 19.0%と続いています。

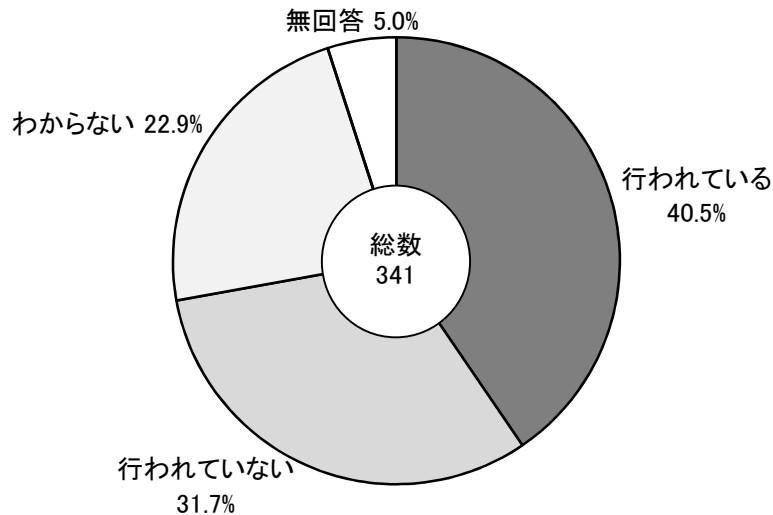


VI 町会・自治会等調査の結果

(16) 町会等以外の助け合い活動

Q5. 町会等の区域内で町会等以外が主体となって、高齢者の日常生活における支え合いや助け合い活動が行われていますか。(1つに○)

「行われている」が40.5%と最も多く、次いで「行われていない」が31.7%、「わからない」が22.9%と続いています。



圏域別に見ると明第2西地区、東部地区、五香松飛台地区、馬橋地区、新松戸地区で「行われている」が50%以上となっています。

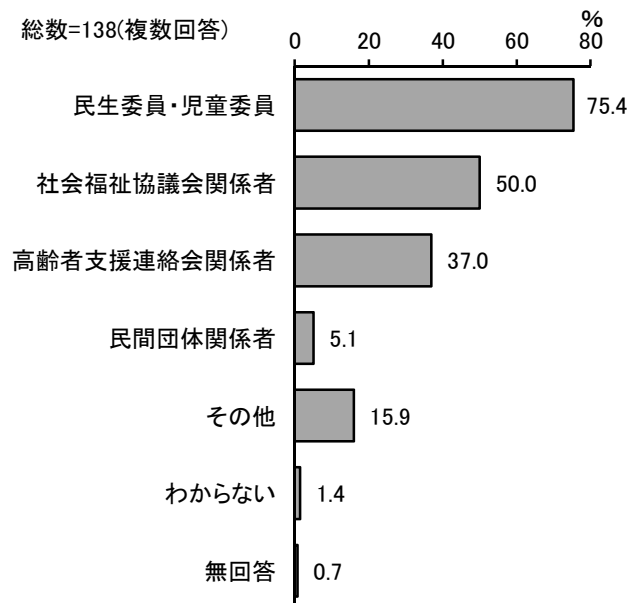
		全体	行われている	行われていない	わからない	無回答
全体		341	138	108	78	17
		100.0	40.5	31.7	22.9	5.0
日常生活圏域	本庁地区	28	10	8	8	2
		100.0	35.7	28.6	28.6	7.1
	明第1地区	53	16	17	15	5
		100.0	30.2	32.1	28.3	9.4
	明第2東地区	12	2	4	5	1
		100.0	16.7	33.3	41.7	8.3
	明第2西地区	13	7	2	3	1
		100.0	53.8	15.4	23.1	7.7
	矢切地区	12	4	7	-	1
		100.0	33.3	58.3	-	8.3
	東部地区	17	9	5	3	-
		100.0	52.9	29.4	17.6	-
	常盤平地区・常盤平団地地区	37	12	14	8	3
		100.0	32.4	37.8	21.6	8.1
	五香松飛台地区	30	15	7	8	-
	100.0	50.0	23.3	26.7	-	
六実六高台地区	14	6	4	4	-	
	100.0	42.9	28.6	28.6	-	
馬橋地区	17	10	5	1	1	
	100.0	58.8	29.4	5.9	5.9	
小金地区	28	9	12	5	2	
	100.0	32.1	42.9	17.9	7.1	
小金原地区	21	6	8	7	-	
	100.0	28.6	38.1	33.3	-	
新松戸地区	21	11	5	4	1	
	100.0	52.4	23.8	19.0	4.8	
馬橋西地区	15	7	5	3	-	
	100.0	46.7	33.3	20.0	-	
無回答	23	14	5	4	-	
	100.0	60.9	21.7	17.4	-	

(17) 町会等以外の助け合い活動の参加者

(16) で 1 (町会等以外が主体となって、支え合いや助け合い活動が行われている) と回答した方

Q5-1. 助け合い活動に参加しているのは、どのような方ですか。(あてはまるもの全てに○)

「民生委員・児童委員」が 75.4%と最も多く、次いで「社会福祉協議会関係者」が 50.0%、「高齢者支援連絡会関係者」が 37.0%、「民間団体関係者」が 5.1%と続いています。

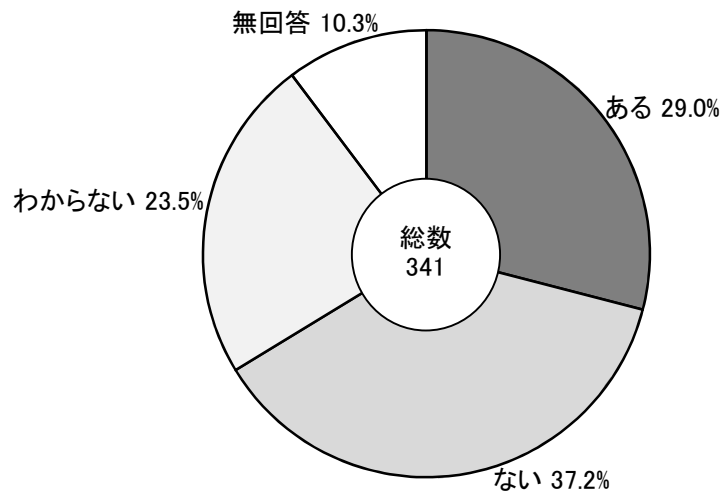


VI 町会・自治会等調査の結果

(18) 町会等以外の通いの場

Q6. 町会等の区域内で町会等以外が主体となって実施している高齢者向けの通いの場等がありますか。(1つに○)

「ない」が37.2%と最も多く、次いで「ある」が29.0%、「わからない」が23.5%と続いています。



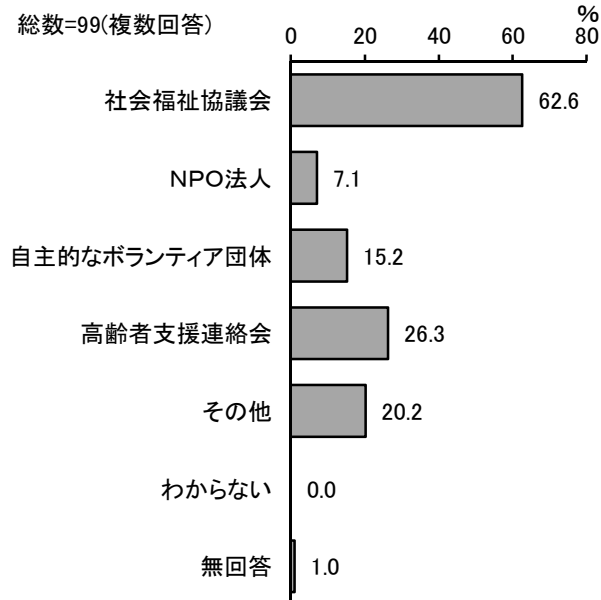
圏域別に見ると五香松飛台地区で「ある」が50%となっています。

		全体	ある	ない	わからない	無回答
全体		341	99	127	80	35
		100.0	29.0	37.2	23.5	10.3
日常生活圏域	本庁地区	28	6	11	8	3
		100.0	21.4	39.3	28.6	10.7
	明第1地区	53	8	23	16	6
		100.0	15.1	43.4	30.2	11.3
	明第2東地区	12	1	4	4	3
		100.0	8.3	33.3	33.3	25.0
	明第2西地区	13	6	3	3	1
		100.0	46.2	23.1	23.1	7.7
	矢切地区	12	3	7	-	2
		100.0	25.0	58.3	-	16.7
	東部地区	17	6	5	5	1
		100.0	35.3	29.4	29.4	5.9
	常盤平地区・常盤平団地地区	37	13	12	8	4
		100.0	35.1	32.4	21.6	10.8
	五香松飛台地区	30	15	7	8	-
		100.0	50.0	23.3	26.7	-
六実六高台地区	14	3	6	4	1	
	100.0	21.4	42.9	28.6	7.1	
馬橋地区	17	8	5	2	2	
	100.0	47.1	29.4	11.8	11.8	
小金地区	28	7	12	6	3	
	100.0	25.0	42.9	21.4	10.7	
小金原地区	21	3	12	5	1	
	100.0	14.3	57.1	23.8	4.8	
新松戸地区	21	7	8	4	2	
	100.0	33.3	38.1	19.0	9.5	
馬橋西地区	15	6	4	2	3	
	100.0	40.0	26.7	13.3	20.0	
無回答	23	7	8	5	3	
	100.0	30.4	34.8	21.7	13.0	

(19) 町会等以外の通いの場の運営母体

(18) で 1 (町会等以外が主体となって実施している通いの場等がある) と回答した方
 Q6-1. その運営母体はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

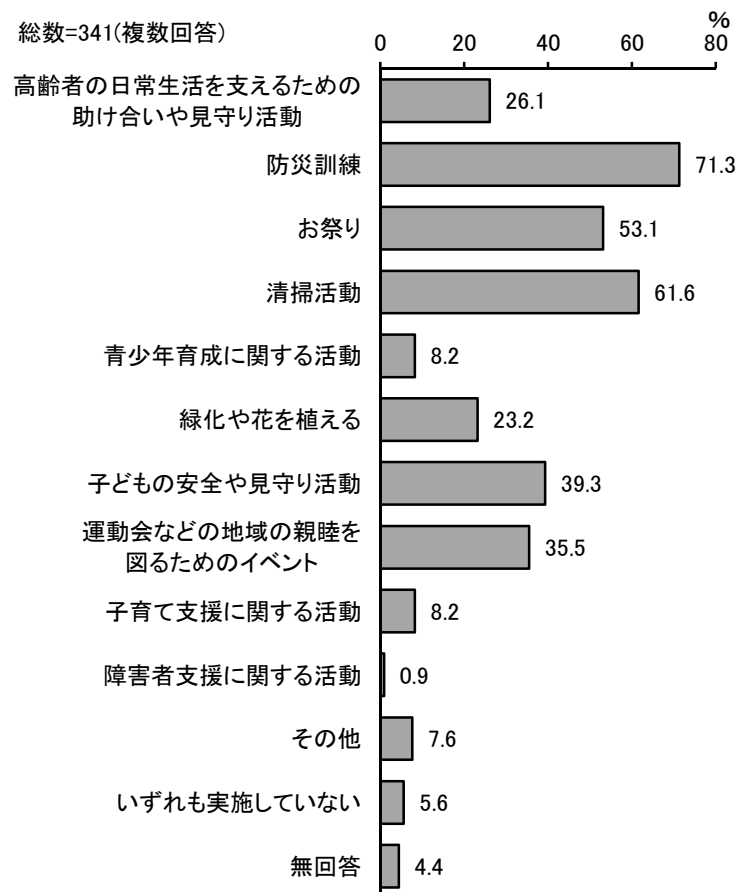
「社会福祉協議会」が 62.6%と最も多く、次いで「高齢者支援連絡会」が 26.3%、「自主的なボランティア団体」が 15.2%、「NPO法人」が 7.1%と続いています。



(20) 町会等で行っている活動

Q7. 下記のうち町会等で行っている活動はありますか。(あてはまるもの全てに○)

「防災訓練」が71.3%と最も多く、次いで「清掃活動」が61.6%、「お祭り」が53.1%、「子どもの安全や見守り活動」が39.3%と続いています。

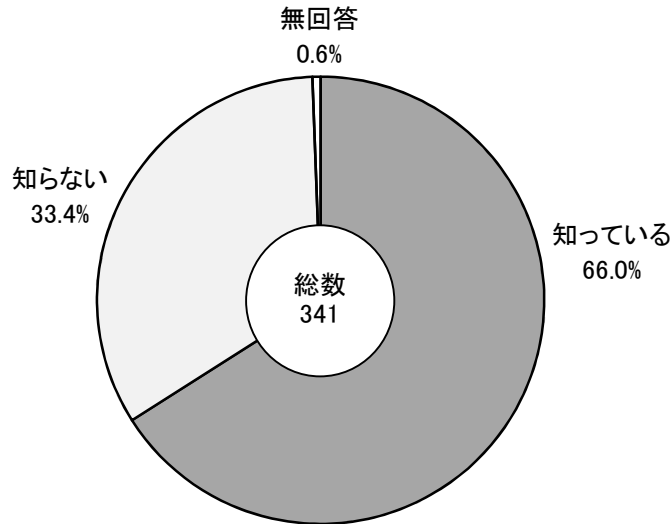


3 災害に備えた情報共有について

(1) 要支援名簿

Q 8. 松戸市避難行動要支援者名簿を知っていますか。(どちらかに○)

「知っている」が66.0%、「知らない」が33.4%となっています。

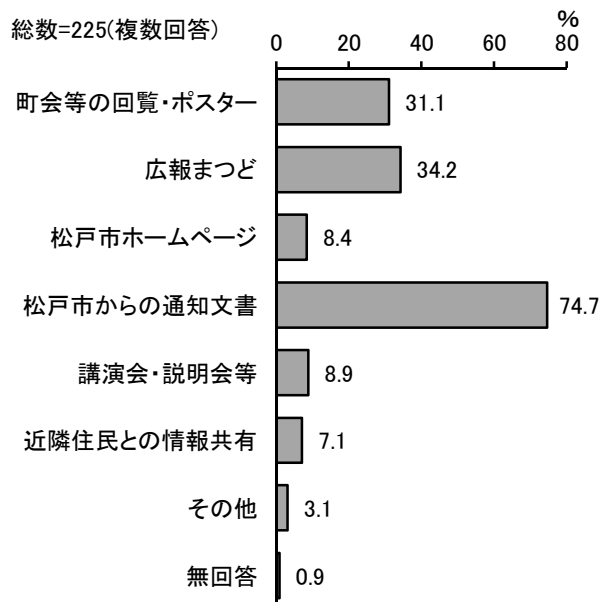


(2) 要支援名簿認知のきっかけ

(1) で 1 (知っている) と回答した方

Q 8-1. 松戸市避難行動要支援者名簿のことを何によって知りましたか。
(あてはまるもの全てに○)

「松戸市からの通知文書」が74.7%と最も多く、次いで「広報まつど」が34.2%、「町会等の回覧・ポスター」が31.1%、「講演会・説明会等」が8.9%と続いています。

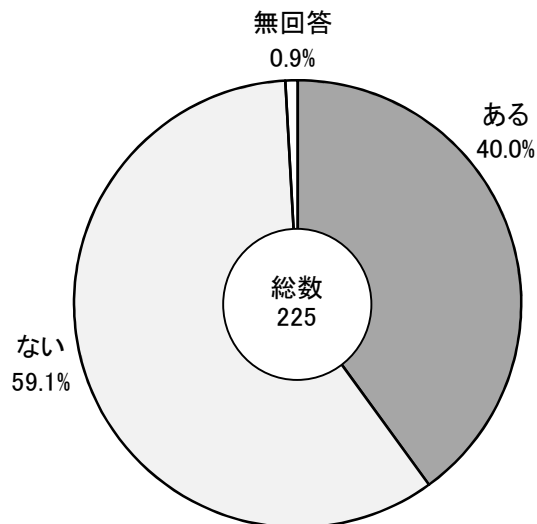


(3) 要支援名簿を借りたこと

(1) で1 (知っている) と回答した方

Q 8-2. 松戸市避難行動要支援者名簿を借り受けたことがありますか。(どちらかに○)

「ある」が40.0%、「ない」が59.1%となっています。

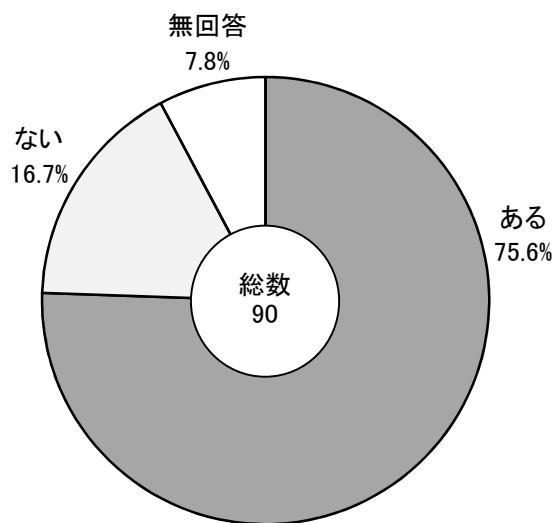


(4) 今後借りる予定

(3) で1 (借り受けたことがある) と回答した方

Q 8-2-1. 松戸市避難行動要支援者名簿は情報を毎年更新します。次回の更新後に名簿を借り受ける予定はありますか。(どちらかに○)

「ある」が75.6%、「ない」が16.7%となっています。

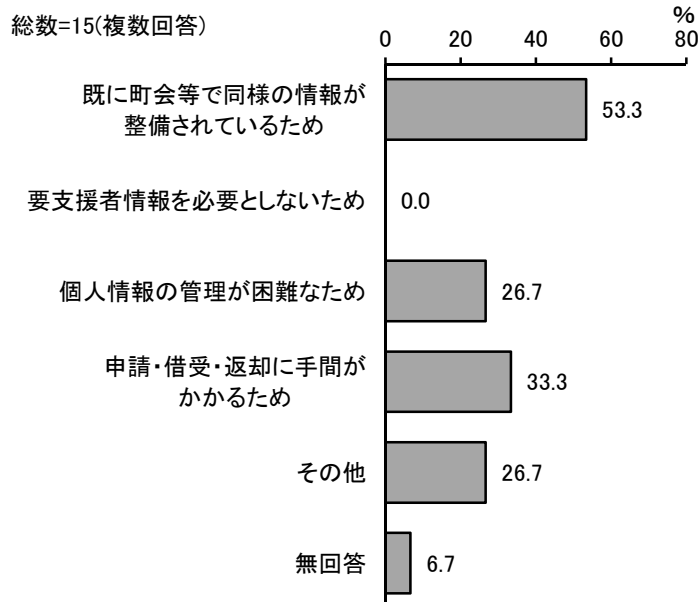


(5) 借りる予定がない理由

(4) で2 (予定はない) と回答した方

Q8-2-1-1. その理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

「既に町会等で同様の情報が整備されているため」が53.3%と最も多く、次いで「申請・借受・返却に手間がかかるため」が33.3%、「個人情報の管理が困難なため」が26.7%と続いています。

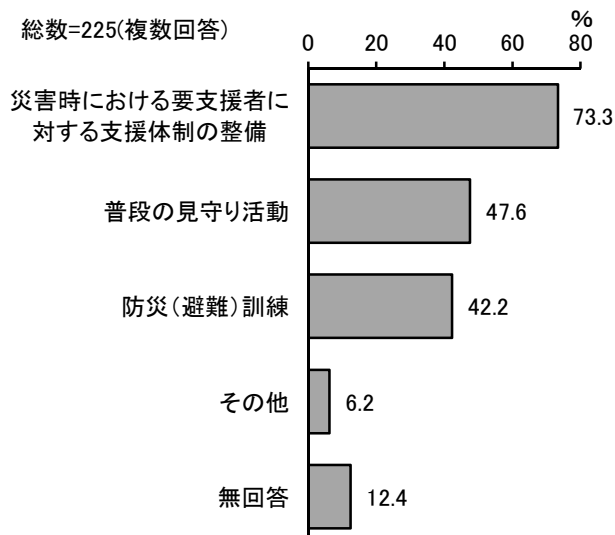


(6) 要支援名簿の活用法

(1) で1 (知っている) と回答した方

Q8-3. 町会等では、松戸市避難行動要支援者名簿をどのようなことに活用できると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

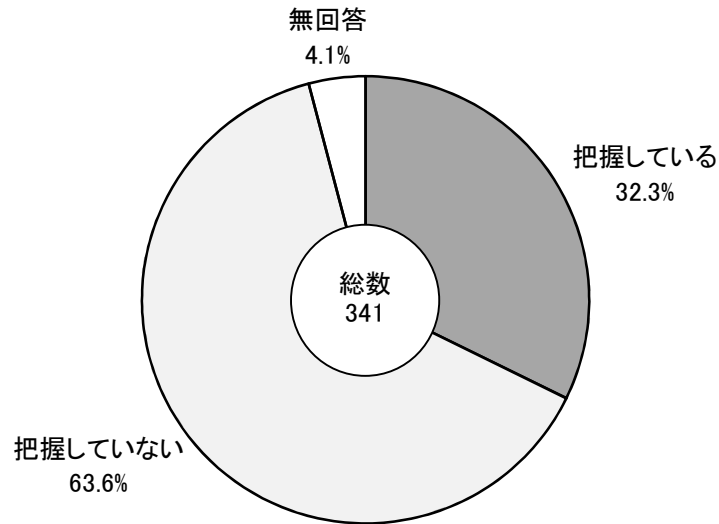
「災害時における要支援者に対する支援体制の整備」が73.3%と最も多く、次いで「普段の見守り活動」が47.6%、「防災(避難)訓練」が42.2%と続いています。



(7) 要支援者情報の把握

Q9. 松戸市避難行動要支援者名簿以外で、町会等で独自に地域における要支援者の情報を把握していますか。(どちらかに○)

「把握している」が32.3%、「把握していない」が63.6%となっています。

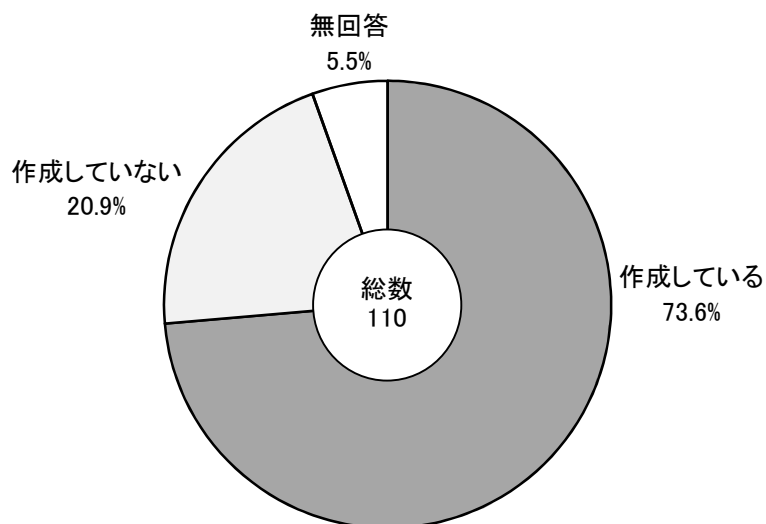


(8) 名簿等の作成

(7) で1 (把握している) と回答した方

Q9-1. 名簿等を作成していますか。(どちらかに○)

「作成している」が73.6%、「作成していない」が20.9%となっています。

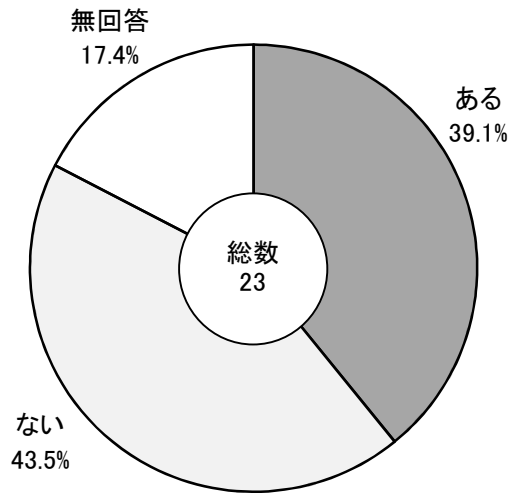


(9) 名簿等の作成予定

(8) で2 (作成していない) と回答した方

Q9-1-1. 今後、名簿等を作成する予定はありますか。(どちらかに○)

「ある」は39.1%、「ない」は43.5%となっています。

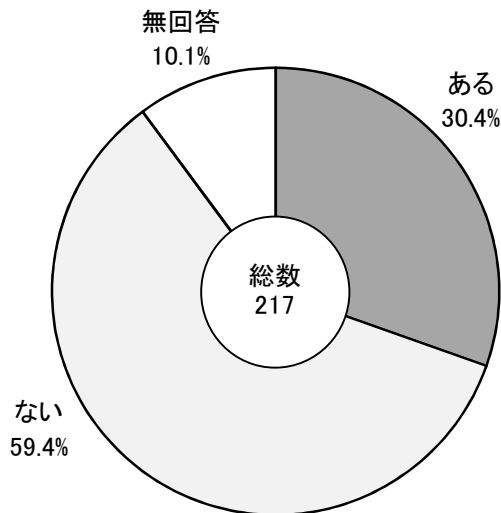


(10) 要支援者情報の収集予定

(7) で2 (把握していない) と回答した方

Q9-2. 今後、要支援者の情報を収集する予定はありますか。(どちらかに○)

「ある」が30.4%、「ない」が59.4%となっています。

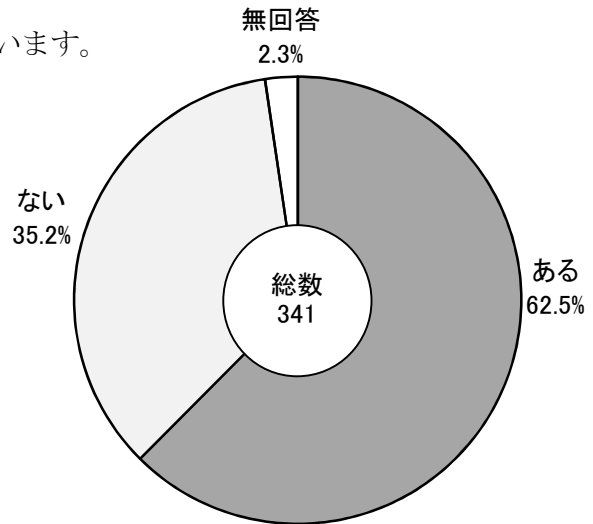


4 近隣の町会等との関係性や地域課題について

(1) 活動の合同実施

Q10. 町会等では、近隣の町会等や団体と合同で活動や催しを行うことがありますか。
(どちらかに○)

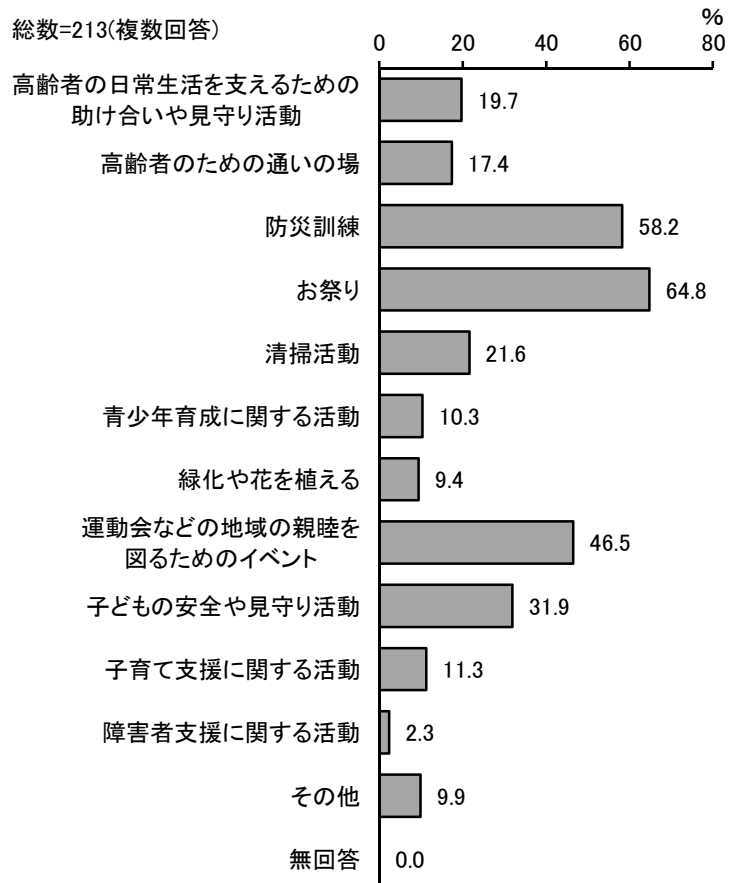
「ある」が62.5%、「ない」が35.2%となっています。



(2) 合同実施の内容

(1) で1 (ある) と回答した方
Q10-1. どのような活動や催しを合同で行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

「お祭り」が64.8%と最も多く、次いで「防災訓練」が58.2%、「運動会などの地域の親睦を図るためのイベント」が46.5%、「子どもの安全や見守り活動」が31.9%と続いています。

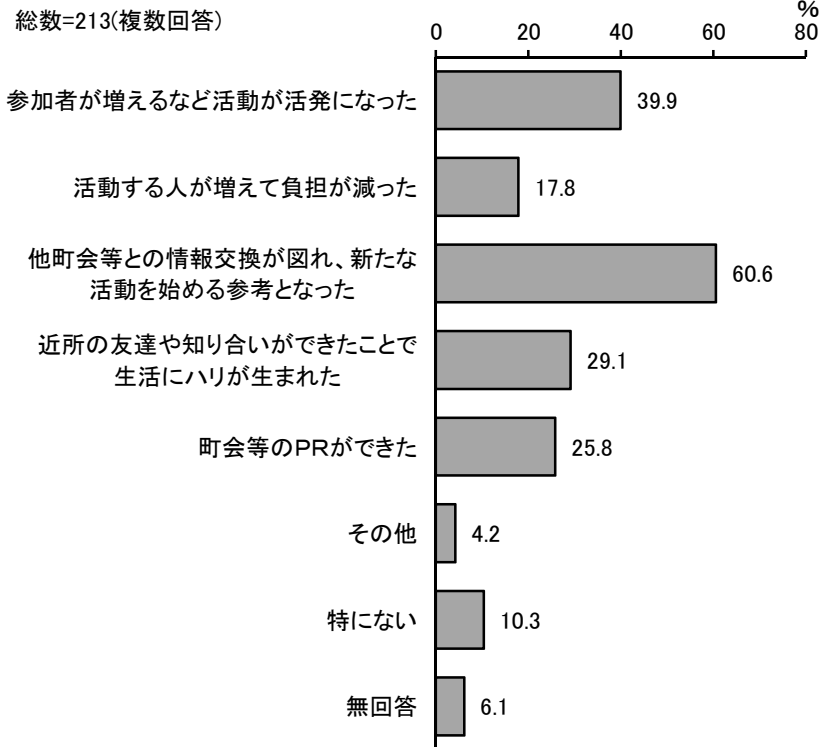


(3) 合同実施のよいこと

(1) で1 (ある) と回答した方

Q10-2. 合同で活動や催しを行ってよかったことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「他町会等との情報交換が図れ、新たな活動を始める参考となった」が60.6%と最も多く、次いで「参加者が増えるなど活動が活発になった」が39.9%、「近所の友達や知り合いができたことで生活にハリが生まれた」が29.1%、「町会等のPRができた」が25.8%と続いています。

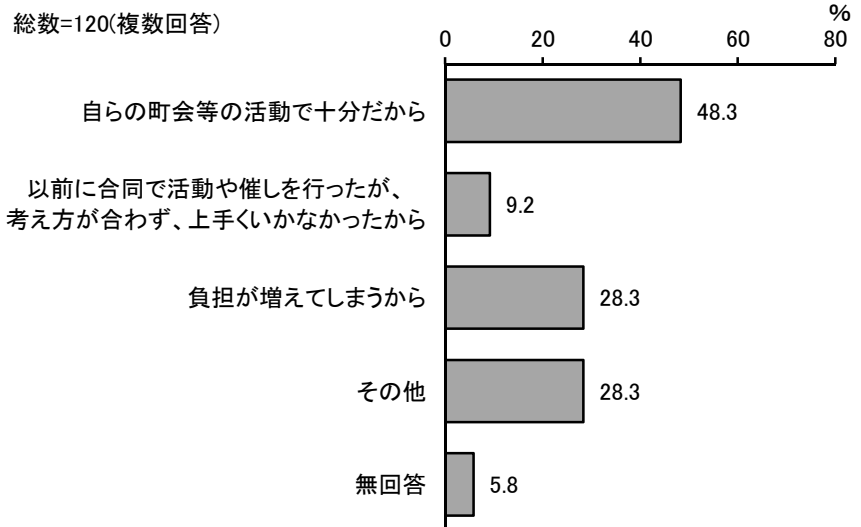


(4) 合同実施をしない理由

(1) で2 (ない) と回答した方

Q10-3. 他町会等と合同で活動や催しを行わない理由は何ですか。

「自らの町会等の活動で十分だから」が48.3%と最も多く、次いで「負担が増えてしまうから」が28.3%、「以前に合同で活動や催しを行ったが、考え方が合わず、上手くいかなかったから」が9.2%と続いています。



(5) 地域課題

Q11. 町会等において感じている地域の課題を教えてください。(3つまでに○)

「地域の防災に関する問題」が 39.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者に関する問題」が 36.1%、「地域の安全対策や防犯に関する問題」が 34.9%、「住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化」が 34.6%と続いています。

